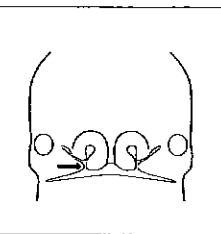


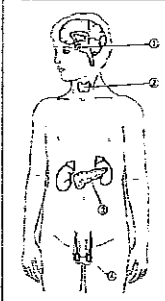
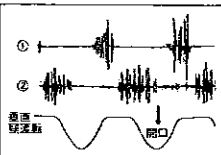
平成21年度 第1回
 歯科衛生士模範試験

解答・解説

問題 A		解答・解説
解剖学		
1	<p>消化管で吸収した栄養物を肝臓に運ぶ血管はどれか。</p> <p>a 固有肝動脈 b 肝静脈 c 門脈 d 肝管</p> <p>▶keyword: 門脈、固有肝動脈、肝管、肝門、肝静脈</p>	<p>解答: c</p> <p>肝臓を養う固有肝動脈と、消化管からの静脈血を運ぶ門脈と、肝細胞が分泌した胆汁を輸送する肝管と、リンパ管と神経は肝臓の肝門を出入りする。肝臓内を循環した血液は肝臓の後上面の肝静脈から下大静脈に注ぐ。</p> <p>a × 固有肝動脈は肝臓に動脈血を送る。 b × 肝静脈は肝臓の血液が出ていく静脈である。 c ○ 門脈は消化管からの血液を肝臓に送る。 d × 肝管は肝臓で分泌された胆汁を胆嚢と十二指腸に運ぶ。</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 39-40 歯科衛生士教本 解剖 80-82</p>
2	<p>歯根膜付近の写真(別冊 No. 1)を別に表示。 矢印が示す構造と同一(名称)の構造がみられるのはどれか。</p> <p>a 歯肉 b 象牙質 c エナメル質 d セメント質</p> <p>▶keyword: シャーピー線維、歯根膜主線維、セメント質</p>	<p>解答: d</p> <p>シャーピー線維について理解する。写真の矢印は歯根膜主線維が歯槽骨内に進入した部位であるが、同じ構造がセメント質内にも存在する。</p> <p>a × b × c × d ○ シャーピー線維は歯槽骨とセメント質にみられる。</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 152-153</p>
3	<p>エナメル質について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a エナメル小柱は表面側のほうが細い。 b エナメル小柱の太さは1~2μmである。 c 約4μm 間隔の横紋がみられる。 d モース硬度計で6~7度である。</p> <p>▶keyword: 横紋、モース硬度計</p>	<p>解答: c, d</p> <p>エナメル質の硬度やエナメル小柱の特徴について理解する。エナメル質は、人体の中でもっとも硬い組織で95~97%が無機質である。</p> <p>a × 表面側のほうが太い。 b × エナメル小柱の太さは3~5μmである。 c ○ 3~5μm の間隔で縞模様の紋様がみられる。 d ○ 長石あるいは水晶の硬さに相当する。</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 136-141 ポイントチェック① 67-68</p>
4	<p>味蕾が存在するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 軟口蓋 b 硬口蓋 c 糸状乳頭 d 有郭乳頭</p> <p>▶keyword: 味蕾</p>	<p>解答: a, d</p> <p>味覚の受容体である味蕾について理解する。味蕾の分布は、約7割が舌乳頭(糸状乳頭を除く)の上皮内に存在するが、残りの約3割は軟口蓋、咽頭、喉頭蓋の上皮内に存在する。</p> <p>a ○ b × c × d ○</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 175 ポイントチェック① 50, 111</p>

問題 A		解答・解説	
5	<p>下顎骨を後方からみた写真(別冊No. 2)を別に示す。 矢印を通る神経はどれか。 a オトガイ神経 b 舌神経 c 舌下神経 d 下歯槽神経</p> <p>▶ keyword: 下顎神経、舌神経、下歯槽神経、オトガイ神経、舌下神経、下顎孔</p>	<p>解答: d 矢印は下顎骨下顎枝内面にある下顎孔を示す。ここを通る神経は下顎歯の知覚を支配する三叉神経第3枝である下顎神経の枝の下歯槽神経である。 a × オトガイ神経は下歯槽神経の枝がオトガイ孔から出た部分で、下顎部の皮膚の知覚を支配している。 b × 舌神経は下歯槽神経とともに下顎神経の枝の1つであるが、舌の前方部の知覚を支配している。 c × 舌下神経は三叉神経とは別の脳神経で、舌筋の運動を支配している。 d ○</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 220-226</p>	
6	<p>舌動脈の枝はどれか。2つ選べ。 a 上甲状腺動脈 b 舌下動脈 c 舌深動脈 d 下歯槽動脈</p> <p>▶ keyword: 舌動脈、舌下動脈、舌深動脈、上甲状腺動脈、下歯槽動脈</p>	<p>解答: b、c 外頸動脈の枝の舌動脈には、舌骨上枝、舌下動脈、舌深動脈という枝がある。 a × 上甲状腺動脈は外頸動脈の直接の枝である。 b ○ 舌下動脈は舌下腺など舌下部に分布する。 c ○ 舌深動脈は舌全体に分布し、多くの舌背枝を出し、舌尖で反対側と吻合する。 d × 下歯槽動脈は顎動脈の枝である。</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 205-210</p>	
7	<p>ヒト8週胎の顔面正面図を示す。</p>  <p>矢印の部位での癒合不全で生じるのはどれか。 a 口蓋裂 b 正中下顎裂 c 片側性口唇裂 d 両側性口唇裂</p> <p>▶ keyword: 顔面形成、癒合不全</p>	<p>解答: c 顔面形成時の癒合不全に伴う先天異常について理解する。顔面は口窩の周りにできた前頭鼻突起、一対の上顎突起、一対の下顎突起の5つの突起により形成される。さらに、前頭鼻突起から鼻窩の形成時には内側鼻突起と外側鼻突起が形成され、上唇形成に関与する。また、二次口蓋形成には左右の口蓋突起および鼻中隔が関与する。これら一連の突起が発生段階でどのような動きをするのかを理解する。 a × 左右の口蓋突起の癒合不全で生じる。 b × 左右の下顎突起の癒合不全で生じる。 c ○ 片側の鼻突起と内側鼻突起の癒合不全で生じる。 d × 両側の鼻突起と内側鼻突起の癒合不全で生じる。</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 126-130</p>	
8	<p>上皮組織の写真(別冊No. 3)を別に示す。 この上皮がみられる組織はどれか。 a 舌 b 胃 c 鼻腔 d 膀胱</p> <p>▶ keyword: 多列線毛上皮</p>	<p>解答: c 上皮の分類および存在する組織を理解する。 a × おもに角化重層扁平上皮からなる。一部角化していない部位が存在する。 b × 単層円柱上皮からなる。消化器系(胃から大腸まで)にみられる。 c ○ 多列上皮からなる。一般的に気道にみられる上皮には線毛が存在しており、多列線毛上皮ともよばれる。 d × 移行上皮からなる。</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 102-104 ポイントチェック① 29</p>	

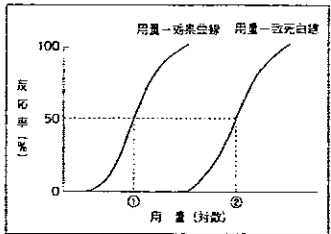
問題 A		解答・解説	
生理学			
9	<p>肺毛細血管とガス交換を行うのはどれか。 a 気管 b 気管支 c 肺胞 d 横隔膜</p> <p>▶ keyword: 肺胞、ガス交換</p>	<p>解答: c 呼吸器の構造と機能について知識を確認する。 a × 呼吸器は気道と肺から構成される。気道は鼻腔(または口腔)、咽頭、喉頭、気管、気管支からなり、外気と肺との間のガスの通路である。 b × c ○ 気管支が次第に枝分かれして細くなり、その先端が肺胞囊に続く。肺胞囊の壁は半球状に膨らんだ多数の肺胞からできている。ごく薄い肺胞の壁を挟んで肺胞内の空気と周囲の毛細血管内の血液が接している。この肺胞で酸素と二酸化炭素のガス交換が行われる。 d × 肺の容積の増大と収縮は肺を取り囲んでいる胸郭と横隔膜の運動による。</p> <p>文献: 生理学 29-36</p>	
10	<p>呼吸運動のリズムを形成する部位はどれか。 a 延髄 b 脊髄 c 大動脈体 d 頸動脈小体</p> <p>▶ keyword: 呼吸中枢、呼吸数と呼吸の深さの調節</p>	<p>解答: a 呼吸の調節機構の中で、特に呼吸中枢についての知識を確認する。 a ○ 延髄の呼吸中枢で基本的な呼吸リズムが形成されている。換気にかかわる筋肉(横隔膜や肋間筋など)は自動能をもたないので、神経インパルスが送られてこなければ収縮しない。呼吸運動を行うための神経インパルスは、脳の延髄にある呼吸中枢ニューロン群から脊髄、さらに肋間神経、横隔神経などを経て、呼吸筋へ伝えられる。 b × c × 血液ガス(O₂分圧、CO₂分圧、pH)の変化を感知する特別な装置として頸動脈小体と大動脈体があり、末梢の化学受容器とよばれる。 d ×</p> <p>文献: 生理学 29-36</p>	
11	<p>随意筋はどれか。 a 心筋 b 立毛筋 c 骨格筋 d 内臓平滑筋</p> <p>▶ keyword: 筋の分類、体性運動神経、自律神経</p>	<p>解答: c 筋の種類と分類について基本的な知識を確認する。筋は横紋構造のある横紋筋と、それが認められない平滑筋の2種類にわけられる。横紋筋はさらに骨格筋と心筋にわけられ、平滑筋には内臓器官の壁をなす内臓筋の大部分が含まれる。 a × 心筋や平滑筋は自律神経系の支配を受け、意志とは無関係に行われる運動である(不随意筋)。 b × 立毛筋は平滑筋の1つである。 c ○ 骨格筋は体性運動神経の支配を受け、咀嚼や歩行など意志によって調節できる(随意筋)。 d ×</p> <p>文献: 生理学 37-45</p>	
12	<p>副交感神経の節後線維から分泌される神経伝達物質はどれか。 a ノルアドレナリン b γ-アミノ酪酸 c アセチルコリン d アドレナリン</p> <p>▶ keyword: 自律神経、シナプス、神経伝達物質</p>	<p>解答: c シナプスで分泌(放出)される神経伝達物質は神経の種類により異なる。 a × 交感神経の節後線維から分泌される。 b × 脳内のさまざまな部位で分泌され、抑制性の伝達物質である。 c ○ 副交感神経の節後線維から分泌され、神経筋接合部での伝達に関与する。 d × 副腎髄質から分泌されるホルモンである。</p> <p>文献: 生理学 47-48、52 ポイントチェック① 94</p>	

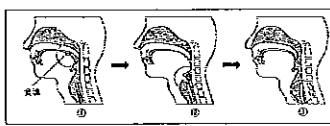
問題 A		解答・解説	
13	<p>全身の内分泌器官を図に示す。</p>  <p>全身の代謝を高めるホルモンを分泌する器官はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▷ keyword : 物質代謝、甲状腺</p>	<p>解答 : b</p> <p>甲状腺から分泌されるサイロキシンは物質代謝を亢進させる。</p> <p>a × 脳下垂体である。</p> <p>b ○ 甲状腺からはカルシトニンも分泌され、血中のカルシウム濃度を低下させる。</p> <p>c × 膵臓である。</p> <p>d × 精巣である。</p> <p>文献 : 生理学 85-86 ポイントチェック① 102</p>	
14	<p>歯根膜感覚を介して知ることができるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 咬合感覚 b 象牙質知覚 c 歯の冷水痛 d 歯の位置感覚</p> <p>▷ keyword : 歯根膜、歯髄</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>a ○ 咬合時、歯にかかる力を歯根膜のひずみとして感知する。</p> <p>b × 象牙質に加えられた刺激は歯髄神経を介して中枢に伝えられる。</p> <p>c × 歯への冷水刺激は象牙質を刺激し歯髄神経を介して中枢に伝えられる。</p> <p>d ○ 歯への触・圧刺激が歯根膜感覚として中枢に伝えられ、刺激部位を同定する。</p> <p>文献 : 生理学 136-139 ポイントチェック① 109</p>	
15	<p>咀嚼時の垂直顎運動と2つの筋の筋電図を示す。</p>  <p>2つの筋の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>① ②</p> <p>a 側頭筋 咬筋 b 咬筋 顎二腹筋 c 内側翼突筋 側頭筋 d 顎二腹筋 顎舌骨筋</p> <p>▷ keyword : 咀嚼筋、咬筋、顎二腹筋、咀嚼周期</p>	<p>解答 : b</p> <p>①は閉口するときに活動し、②は開口するときに活動しているため、①が閉口筋である咬筋、②が開口筋である顎二腹筋の組合せが正しい。</p> <p>a × とともに閉口筋である。</p> <p>b ○</p> <p>c × とともに閉口筋である。</p> <p>d × とともに開口筋である。</p> <p>文献 : 生理学 112-113、118-122</p>	

問題 A		解答・解説	
病理学			
16	<p>歯髄がポリープ状を呈するのはどれか。</p> <p>a 急性化膿性歯髄炎 b 急性上行性歯髄炎 c 慢性潰瘍性歯髄炎 d 慢性増殖性歯髄炎</p> <p>▷ keyword : 急性漿液性(単純性)歯髄炎、急性化膿性歯髄炎、急性上行性歯髄炎、慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、慢性閉鎖性歯髄炎</p>	<p>解答 : d</p> <p>歯髄炎には、急性歯髄炎として、急性漿液性(単純性)歯髄炎、急性化膿性歯髄炎、急性上行性歯髄炎があり、慢性歯髄炎として、慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、慢性閉鎖性歯髄炎がある。</p> <p>a × 化膿性炎は好中球の浸潤が著明な炎症で、多量の好中球を含んだ膿汁を排出することから、排膿ができず、臨床的には、持続的で激しい拍動性、放散性の疼痛を特徴とする。特に夜間に自発痛を訴える。</p> <p>b × 急性上行性歯髄炎は、辺縁性歯周炎の深いポケットから、根尖孔を介して逆行性に歯髄に感染が広がったもので、齶蝕や咬耗、摩耗などの硬組織の欠損がみられないにもかかわらず、急性化膿性歯髄炎と同様の激しい自発痛を起こす。</p> <p>c × 慢性潰瘍性歯髄炎は、急性化膿性歯髄炎で歯髄を覆っている軟化象牙質が壊れて、溜まった膿が排出し、歯髄が露出したもの。臨床的には、自発痛はほとんどなく、食片などの圧入や擦過により痛みを生じる。</p> <p>d ○ 慢性増殖性歯髄炎では、歯髄息肉あるいは歯髄ポリープがみられる。慢性潰瘍性歯髄炎となって露出した歯髄に慢性的な刺激が加わり、茸状(ポリープ状)に増殖したもので、乳歯や若年者の歯のような生活力の旺盛な歯髄にみられる。リンパ球や形質細胞の浸潤を伴った肉芽組織からできており、表面が重層扁平上皮により覆われることもある。</p> <p>文献 : 病理学 132-136 ポイントチェック① 149-150</p>	
17	<p>エナメル質の形成がみられるのはどれか。</p> <p>a 骨腫 b 歯牙腫 c 多形性腺腫 d リンパ管腫</p> <p>▷ keyword : 骨腫、歯牙腫、多形性腺腫、エナメル上皮腫、歯原性腫瘍、唾液腺腫瘍</p>	<p>解答 : b</p> <p>a × 骨腫は、多くは外骨症とよばれる骨組織の反応性増殖で、硬口蓋正中部にみられる口蓋隆起や、下顎小白歯部舌側の下顎隆起がある。</p> <p>b ○ 歯牙腫では歯と歯周組織、すなわち、エナメル質、象牙質、セメント質、歯髄、歯根膜のすべてがつくられる。大小不規則な小さな歯が集まった歯牙腫集合型と、すべての歯の構成要素が不規則に混在して塊状となった歯牙腫複雑型がある。</p> <p>c × 多形性腺腫は耳下腺や顎下腺に好発する唾液腺腫瘍で、組織学的には、腺腫の部分とともに、軟骨腫様や粘液腫様組織が観察される。</p> <p>d × リンパ管の増殖をきたす病変で、発育異常であることが多い。口腔領域では、若年層の舌、頬、口唇の粘膜に好発する。</p> <p>文献 : 病理学 205-214 ポイントチェック① 156-157</p>	
18	<p>わが国における口腔扁平上皮癌の好発部位はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯肉 b 頬粘膜 c 舌側縁 d 口腔底</p> <p>▷ keyword : 扁平上皮癌、舌癌、歯肉癌</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>口腔癌のほとんどは、口腔粘膜の重層扁平上皮から発生する扁平上皮癌である。日本では舌癌と歯肉癌が多くみられ、好発部位は舌側縁と下顎小白歯部の歯肉で、リンパ行性転移により顎下リンパ節などの頸部リンパ節に転移する。50歳以上の男性に多い。肉眼的には潰瘍形成や白斑を呈することが多い。高分化なものでは、癌真珠を形成する。</p> <p>a ○ b × c ○ d ×</p> <p>文献 : 病理学 209-214 ポイントチェック① 157</p>	

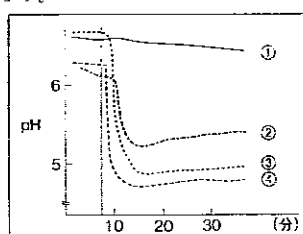
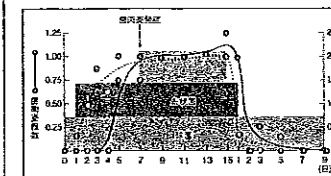
問題 A		解答・解説	
19	<p>血流の遮断の原因となるのはどれか。</p> <p>a 塞栓 b 充血 c 傍側循環 d 線維素溶解</p> <p>▷ keyword : 塞栓</p>	<p>解答 : a</p> <p>血管内の固形物や血管内に入ってきた異物が血管壁を閉鎖した状態を塞栓症という。吻合枝をもたない小動脈が塞栓で閉鎖されると梗塞を生じる。</p> <p>a ○ 塞栓症は異物による血管内腔の閉塞で、結果的に血流の遮断につながる。 b × 充血は局所に動脈血の流入が増加した状態である。 c × 血栓などにより血管の狭窄あるいは閉塞が生じた場合に、吻合枝による血流再開がみられる場合を傍側循環という。 d × プラスミンにより線維素が溶解し、凝固した血液が溶解する現象を線維素溶解現象という。</p> <p>文献 : 病理学 41</p>	
20	<p>ヒスタミンを放出する細胞はどれか。</p> <p>a 好中球 b 形質細胞 c 肥満細胞 d リンパ球</p> <p>▷ keyword : ヒスタミン、肥満細胞、炎症性細胞</p>	<p>解答 : c</p> <p>肥満細胞は結合組織に存在し、局所の起炎物質を検知すると、細胞質に溜めた顆粒からヒスタミンを放出する。</p> <p>a × 好中球は化膿性渗出物のおもな構成成分であり、食食能をもつ。 b × 形質細胞は B リンパ球由来の細胞で、抗体（免疫グロブリン）を産生する。 c ○ 肥満細胞は細胞内にヘパリン・ヒスタミン複合体を貯蔵する顆粒を有しており、刺激が加わるとヒスタミンを放出する。 d × リンパ球は免疫反応の中心的な役割を果たす。</p> <p>文献 : 病理学 48</p>	
微生物学			
21	<p>真菌によるのはどれか。</p> <p>a 麻疹 b ジフテリア c 義歯性口内炎 d 結核</p> <p>▷ keyword : 真菌、口腔カンジダ症</p>	<p>解答 : c</p> <p>真菌による口腔感染症について理解する。</p> <p>a × 麻疹は麻疹ウイルスによる感染症である。 b × ジフテリアはコリネバクテリウム属の細菌による感染症である。 c ○ 義歯性口内炎はカンジダ・アルビカンスが義歯に付着しやすいため生じる。 d × 結核はマイコバクテリウム属の細菌による感染症である。</p> <p>文献 : 微生物学 92-112</p>	
22	<p>アレルギーに関係するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a IgA b IgD c IgG d IgE</p> <p>▷ keyword : アレルギー、抗体</p>	<p>解答 : c, d</p> <p>アレルギーのメカニズムについて理解する。</p> <p>a × IgA はアレルギーには関与しない。 b × IgD はアレルギーには関与しない。 c ○ IgG は II 型と III 型アレルギーに関与する。 d ○ IgE は I 型アレルギーに関与する。</p> <p>文献 : 微生物学 72-76</p>	

問題 A		解答・解説	
23	<p>日和見感染症の病原体となるのはどれか。</p> <p>a コレラ菌 b 破傷風菌 c MRSA d HIV</p> <p>▷ keyword : 日和見感染症、易感染性宿主</p>	<p>解答 : c</p> <p>日和見感染症の定義と原因となる弱毒病原体について理解する。日和見感染症とは易感染性宿主が弱毒の病原体によって感染するものをさす。</p> <p>a × コレラ菌は強力な外毒素である腸管毒を産生する病原体である。 b × 破傷風菌は強力な外毒素である神経毒を産生する病原体である。 c ○ MRSA は多剤耐性の黄色ブドウ球菌であるが、健康なヒトに病原性を発揮することは少ない典型的な日和見感染症原因菌となる。 d × HIV は健康なヒトでも血液・体液を介して侵入があると感染が成立する。ただし、HIV 感染者は AIDS を発症すると易感染性宿主となり、結果として日和見感染しやすいが、原因病原体ではない。</p> <p>文献 : 微生物学 45-47</p>	
24	<p>ペプチドグリカンについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a グラム陽性菌のみが有する。 b 細菌の形態を保つ。 c β-ラクタム系抗菌薬の標的である。 d アルコールに溶解する。</p> <p>▷ keyword : ペプチドグリカン、グラム染色、細胞壁、β-ラクタム系抗菌薬</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>ペプチドグリカンとは、ペプチドが結合した多糖のことである。</p> <p>a × グラム陰性菌の細胞壁にもあるが、陽性菌よりも薄くて架橋度も低い。 b ○ 細胞質の高い内圧に抵抗し、菌体の形態を保つ働きがある。 c ○ 主鎖の糖鎖をペプチドで架橋する際に必要な酵素が標的になる。 d × 糖とペプチドから成るのでアルコール類には溶解しない。</p> <p>文献 : 微生物学 12、117 最新歯科衛生士教本 化学 141、144</p>	
25	<p>マクロファージの貪食作用を高める働きがあるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a インターフェロン b 補体 c 免疫グロブリン d ヒスタミン</p> <p>▷ keyword : 補体、抗体、免疫グロブリン、貪食作用、オプソニン</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>マクロファージや好中球の貪食作用を促進するオプソニンになり得るのは、抗体（免疫グロブリン）と補体である。</p> <p>a × ウイルスに感染した細胞が産生・分泌し、周辺の細胞を抗ウイルス状態に誘導するサイトカインである。 b ○ c ○ d × 肥満細胞や好塩基球の顆粒に含まれるケミカルメディエーターであり、これが放出されるとさまざまなアレルギー症状が惹起される。</p> <p>文献 : 微生物学 40-45</p>	
薬理学			
26	<p>局所麻酔薬の作用機序で正しいのはどれか。</p> <p>a Na⁺の細胞内流入の抑制 b K⁺の細胞内流入の抑制 c m ゲートの開放 d h ゲートの開放</p> <p>▷ keyword : 局所麻酔薬</p>	<p>解答 : a</p> <p>局所麻酔薬により細胞膜の h ゲートが閉鎖されて、Na⁺の細胞内流入が抑制され活動電位の発生が抑えられる。その結果、痛みを抑えることが可能になる。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献 : 薬理学 59-60 最新歯科衛生士教本 薬理学 58-59</p>	

問題 A		解答・解説	
<p>27 薬物の用量反応曲線を図に示す。</p>  <p>①と②の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>① ②</p> <p>a $t_{1/2}$ t_{max}</p> <p>b t_{max} $t_{1/2}$</p> <p>c ED_{50} LD_{50}</p> <p>d LD_{50} ED_{50}</p> <p>▶keyword: LD_{50}, ED_{50}, $t_{1/2}$, t_{max}</p>	<p>解答: c</p> <p>$t_{1/2}$ は薬物の生物学的半減期を示す。t_{max} は薬物の最高血中濃度到達時間を示す。</p> <p>a ×</p> <p>b ×</p> <p>c ○ ED_{50} は 50% 有効量を示し、LD_{50} は 50% 致死量を示す。</p> <p>d ×</p> <p>文献: 薬理学 6 最新歯科衛生士教本 薬理学 11-12</p>		
<p>28 アミド型局所麻酔薬はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a リドカイン塩酸塩</p> <p>b コカイン塩酸塩</p> <p>c プロカイン塩酸塩</p> <p>d プロピトカイン塩酸塩</p> <p>▶keyword: リドカイン塩酸塩、コカイン塩酸塩、プロカイン塩酸塩、プロピトカイン塩酸塩、アミド型、エステル型</p>	<p>解答: a, d</p> <p>局所麻酔薬の基本構造は、両端に親油性の芳香族と親水性のアミノ基があり、両者の間の部分に中間鎖がある。局所麻酔薬は中間鎖の化学結合構造からエステル型とアミド型に大きく分けられる。アミド結合を有するアミド型にはリドカイン、プロピトカイン、メピバカインがある。また、エステル結合を有するエステル型には、プロカインやテトラカインがある。なお、天然局所麻酔薬のコカインも構造的にはエステル型である。</p> <p>a ○ リドカイン塩酸塩はアミド型の合成局所麻酔薬である。</p> <p>b × コカイン塩酸塩はエステル型の天然局所麻酔薬である。</p> <p>c × プロカイン塩酸塩はエステル型の合成局所麻酔薬である。</p> <p>d ○ プロピトカイン塩酸塩はアミド型の合成局所麻酔薬である。</p> <p>文献: 薬理学 63-65 最新歯科衛生士教本 薬理学 57-63 ポイントチェック① 212-214</p>		
<p>29 口腔粘膜疾患に局所適用されるのはどれか。</p> <p>a アスピリン</p> <p>b チアラミド塩酸塩</p> <p>c ロキソプロフェンナトリウム</p> <p>d トリアムシノロンアセトニド</p> <p>▶keyword: ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、トリアムシノロンアセトニド</p>	<p>解答: d</p> <p>抗炎症薬はステロイド性と非ステロイド性に大別される。ステロイド性抗炎症薬にはトリアムシノロンアセトニドなど、軟膏、パスタ、貼付剤として、口腔粘膜疾患(再発性アフタなど)に対して局所適用されるものがある。アスピリン、チアラミド、ロキソプロフェンナトリウムなどの非ステロイド性抗炎症薬は経口適用が一般的である。</p> <p>a × アスピリンは酸性非ステロイド性抗炎症薬で、全身適用される。</p> <p>b × チアラミド塩酸塩は塩基性非ステロイド性抗炎症薬で、全身適用される。</p> <p>c × ロキソプロフェンナトリウムは酸性非ステロイド性抗炎症薬で、全身適用される。</p> <p>d ○ トリアムシノロンアセトニドはステロイド性抗炎症薬で、軟膏剤や貼付剤として口腔粘膜疾患に適用される。</p> <p>文献: 薬理学 91-93 最新歯科衛生士教本 薬理学 91-93 ポイントチェック① 218-219</p>		

問題 A		解答・解説	
<p>30 化学療法薬と副作用との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a ニューキノロン系—中枢神経障害</p> <p>b アミノグリコシド系—エナメル質形成不全</p> <p>c テトラサイクリン系—聴覚障害</p> <p>d ペニシリン系—造血器障害</p> <p>▶keyword: 化学療法薬、ニューキノロン系、アミノグリコシド系、テトラサイクリン系、ペニシリン系</p>	<p>解答: a</p> <p>ニューキノロン系抗菌薬には中枢神経障害の副作用がある。特に、非ステロイド性抗炎症薬との併用によって痙攣などの重篤な障害が現れることもある。アミノグリコシド系には聴覚障害(第Ⅷ脳神経障害)、テトラサイクリン系にはエナメル質形成不全や歯の着色、ペニシリン系にはアレルギー反応、クロラムフェニコール系には造血器障害などの副作用がある。おもな化学療法薬と副作用について、知識を整理しておくことが重要である。</p> <p>a ○ ニューキノロン系抗菌薬の副作用にはめまいや頭痛などの中枢神経障害が知られている。</p> <p>b × アミノグリコシド系抗菌薬の副作用は聴覚障害や腎障害である。</p> <p>c × テトラサイクリン系抗菌薬の副作用はエナメル質形成不全や歯の着色である。</p> <p>d × ペニシリン系抗菌薬の副作用はアレルギー反応である。</p> <p>文献: 薬理学 115-123 最新歯科衛生士教本 薬理学 114-123 ポイントチェック① 220-221</p>		
口腔衛生学			
<p>31 食塊を咽頭から食道を経て胃に送り込む口腔の機能を図に示す。</p>  <p>この機能はどれか。</p> <p>a 咀嚼</p> <p>b 消化</p> <p>c 吸啜</p> <p>d 嚥下</p> <p>▶keyword: 嚥下、咀嚼</p>	<p>解答: d</p> <p>口腔の機能としては、咀嚼と嚥下、発音、味覚などがある。さらに口腔は、外貌の一部を形づくっているため、審美観ともかかわりがある。</p> <p>a × 口腔内に摂取した食物をかみきり、砕き、すりつぶし、唾液と混ぜ食塊にして嚥下に引き継ぐまでの過程である。</p> <p>b × 生体が物質を化学的に処理して利用可能な栄養素にする過程のことである。</p> <p>c × 乳児の哺乳のための機能である。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 17-21 最新歯科衛生士教本 保健生態学 102-105 小児歯科学 17</p>		
<p>32 口腔清掃でセルフケアはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 舌苔除去</p> <p>b 義歯清掃</p> <p>c 歯石除去</p> <p>d PTC (PMTC)</p> <p>▶keyword: セルフケア、PTC (PMTC)</p>	<p>解答: a, b</p> <p>口腔清掃には、自然的清掃法、人工的清掃法、手術的清掃法および化学的清掃法がある。</p> <p>a ○</p> <p>b ○</p> <p>c × プロフェッショナルケアである。</p> <p>d × プロフェッショナルケアである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 116-118</p>		

問題 A	解答・解説
<p>33 市町村保健センターで実施されるのはどれか。</p> <p>a 特殊健康診断 b 就学時健康診断 c 休日歯科診療 d 3歳児歯科健康診査</p> <p>▶keyword: 3歳児歯科健康診査</p>	<p>解答: d</p> <p>市町村レベルでの地域保健活動を効率的に行う場として、市町村が市町村保健センターを設置している。このセンターでは、1歳6か月児ならびに3歳児歯科健康診査、老人保健事業における歯科保健教育および歯科健康相談、妊産婦・乳幼児に対する歯科衛生教育および歯科健康相談などの歯科保健活動を行い、広く地域住民の保健活動の「場」として利用されている。</p> <p>a × 労働安全衛生法により危険有害業務に従事する人々を対象に事業所により実施される。 b × 学校保健安全法により原則として入学指定校で実施される。 c × 地域の歯科医師会などにより運営されている。 d ○</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 135</p>
<p>34 歯磨剤の薬用成分と効能との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a 乳酸アルミニウム——齲蝕予防 b グリチルリチン酸——歯周疾患予防 c ピロリン酸ナトリウム——象牙質知覚過敏予防 d デキストラナーゼ——歯石の沈着予防</p> <p>▶keyword: 歯磨剤、薬用成分</p>	<p>解答: b</p> <p>歯磨剤には基本成分と薬用成分がある。薬事法により薬用成分を含んだものは医薬部外品の歯磨剤とされている。</p> <p>a × 乳酸アルミニウムは象牙質知覚過敏予防の目的で配合される。 b ○ c × ピロリン酸ナトリウムは歯石沈着予防の目的で配合される。 d × デキストラナーゼは齲蝕予防の目的で配合される。</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 43-45 最新歯科衛生士教本 保健生態学 125-127</p>
<p>35 歯石を評価する指数はどれか。2つ選べ。</p> <p>a CPI b GI c PCR d OHI</p> <p>▶keyword: CPI, GI, PCR, OHI</p>	<p>解答: a, d</p> <p>ある事象や状態を1つの基準に対して比較できるように数字におきかえることが指数化である。おきかえた数字を指数という。</p> <p>a ○ 歯周組織の健康状態を評価するための指標である。診査基準のコード2で歯石を評価する。 b × 歯肉における炎症の広がり程度と強さの程度を同時に組み入れた評価方法である。 c × 歯を4歯面に分画して、プラークの付着部位を評価する。 d ○ 口腔清掃状態を評価するために、歯表面におけるプラークと歯石の付着範囲を重視して数値化している。</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 188-199</p>

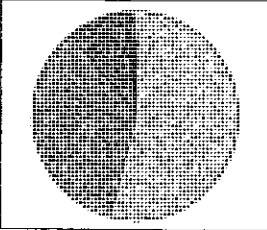
問題 A	解答・解説
<p>36 Stephan のブラーク pH 曲線の一部を図に示す。</p>  <p>①はどれか。</p> <p>a デンプン (調理) b スクロース c マルトース d ソルビトール</p> <p>▶keyword: 第一次予防、甘味料、ステファンカーブ</p>	<p>解答: d</p> <p>ブラーク中の微生物の栄養源はわれわれが摂取する飲食物であるが、糖質の摂取は齲蝕の発病と関係が深い。糖質の中でも微生物が利用しやすい糖質をブラークに作用させるとブラークの pH は急速に低下する。</p> <p>a × ②である。 b × ④である。この中では最もブラークの pH を低下させやすい。 c × ③である。 d ○</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 55-57 最新歯科衛生士教本 保健生態学 141-142</p>
<p>37 齲蝕の予防法のうち、おもに歯質の強化を期待したものはどれか。</p> <p>a 小窩裂溝填塞法 b 甘味飲食物の制限 c フッ化物歯面塗布法 d 電動歯ブラシの使用</p> <p>▶keyword: フッ化物</p>	<p>解答: c</p> <p>フッ化物歯面塗布法は、歯科医師や歯科衛生士など専門家が直接歯面にフッ化物溶液の塗布を実施する方法である。歯の表面からフッ化物(フッ素イオン)を作用させて歯質を強化しようとするものである。</p> <p>a × 齲蝕になりやすい小窩裂溝を封鎖することが目的である。 b × <i>S. mutans</i> 等がつくる不溶性グルカンやブラークの酸産生の基質となるショ糖の摂取を少なくすることが目的である。 c ○ d × 物理的なブラークコントロールの方法であり、手用歯ブラシによる口腔清掃の困難な場合にも有効である。</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 75-76, 84-85 最新歯科衛生士教本 保健生態学 161-166, 174</p>
<p>38 実験的な歯肉炎の発症時のブラーク指数と口腔細菌の状況を図に示す。</p>  <p>①に含まれるのはどれか。</p> <p>a <i>Treponema denticola</i> b <i>Porphyromonas gingivalis</i> c <i>Fusobacterium nucleatum</i> d <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i></p> <p>▶keyword: 歯周疾患、プラーク</p>	<p>解答: a</p> <p>a ○ 実験的歯肉炎のブラークにみられる一方、いわゆる成人性歯周炎で多く検出されるスピロヘータである。 b × 歯周病で多く検出される嫌気性グラム陰性の短桿菌で悪臭を放ち、硫化水素が検出される。 c × 口臭の原因でもある紡錘状の細長いグラム陰性の桿菌である。 d × 若年性歯周炎で多く検出されるグラム陰性の短桿菌である。</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 94-97 最新歯科衛生士教本 保健生態学 181-182</p>

問題 A		解答・解説	
39	<p>学校保健を担当する非常勤職員はどれか。</p> <p>a 保健主事 b 栄養教諭 c 養護教諭 d 学校歯科医</p> <p>▶ keyword : 学校歯科保健、学校歯科医</p>	<p>解答 : d</p> <p>学校では学校長をはじめ常勤職員と各専門分野の非常勤職員が、教職員、家庭、地域と有機的に連携・協力し、保健教育と保健管理により、児童・生徒の健康増進を図っている。</p> <p>a × 学校保健活動の企画・調整にあたり、学校保健活動の中核的立場にある。 b × 栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せもつ教育職員であり、学校給食の管理と食に関する指導を一体として充実させていくことが期待される。 c × 小・中学校および高等学校におかれる学校保健の専門的教育職員である。 d ○ ほかに学校医、学校薬剤師、学校保健技師などが非常勤職員である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 255-258</p>	
40	<p>下線部分で正しいのはどれか。</p> <p>先天的要因による不正咬合は早期の処置により<u>容易</u>に予防できる。これに対して、後天的要因による不正咬合は早期処置による<u>予防が期待できない</u>。</p> <p>不正咬合の予防としては、<u>指しゃぶり</u>および<u>小帯の異常</u>などの不良習癖の改善、<u>齲蝕の予防</u>などがあげられる。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : 不正咬合、不良習癖</p>	<p>解答 : c</p> <p>不正咬合の原因は複雑多岐であり、分類法もさまざまである。一般的には先天的ならびに後天的な原因別に分類されることが多い。また、幼小児の不良習癖は予防できる原因として重要である。</p> <p>a × 困難である。 b × 期待できる。 c ○ d × 小帯の異常は不正咬合の先天的要因で、外科的手術により改善できる。</p> <p>文献 : 口腔衛生学・歯科衛生統計 102-106</p>	
41	<p>プラーク中の構成細菌の経日変化を図に示す。</p> <p>①の細菌の分類はどれか。</p> <p>a 好気性菌 b 通性嫌気性菌 c 嫌気性菌 d 偏性嫌気性菌</p> <p>▶ keyword : プラーク</p>	<p>解答 : a</p> <p>初期定着細菌が増殖してプラークに厚みが増してくると、歯面に接するプラーク底部とプラークの表層とでは、微生物の生育にかかわる環境が異なってくる。すなわち、プラーク底部では酸素や唾液中の栄養分がいきわたらなくなり、ある微生物の代謝産物がほかの微生物の栄養源になるといった微生物間の密接な相互関係が確立されていく。さらに後期定着細菌も加わり、歯肉縁上プラークは成熟した細菌構成に移行していく。</p> <p>a ○ b × 齲蝕の原因菌も含まれる通性嫌気性菌である。 c × 歯周疾患の原因菌になるような嫌気性菌である。 d ×</p> <p>文献 : 口腔衛生学・歯科衛生統計 34-35 最新歯科衛生士教本 保健生態学 100-111</p>	

問題 A		解答・解説												
42	<p>WHO の 2025 年の口腔保健目標で正しいのはどれか。</p> <p>a 5 歳児の 50% 以上が齲蝕にならないこと b 12 歳児の 1 人平均 DMFT 指数を 3 以下にすること c 18 歳の時点で、90% の人が齲蝕が完全に治療された状態となること d 90% 以上の人に破壊性の齲蝕がないこと</p> <p>▶ keyword : 口腔保健目標、WHO</p>	<p>解答 : d</p> <p>1981 年に WHO はアルマ・アタ宣言をうけ、2000 年までに世界的に到達すべき口腔保健の目標を示し、1990 年には 2025 年の目標を示した。</p> <p>a × 90% 以上である。 b × 1 人平均 DMFT 指数を 1 以下にすることである。 c × 20 歳の時点である。 d ○</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 88-89</p>												
43	<p>予防レベルと歯科的健康保持のステップを図に示す。</p> <p>齲蝕の予防法で①に該当するのはどれか。</p> <p>a 甘味飲食物の摂取制限 b フッ化物の洗口 c 摂食訓練 d フッ化ジアンミン銀の歯面塗布</p> <p>▶ keyword : 第一次予防、齲蝕</p>	<p>解答 : d</p> <p>Leavell & Clark は、予防を 3 階層に分け、5 段階の対応のステップを示している。齲蝕の予防に関してもこれにあてはめることができる。</p> <p>a × 第一次予防の対策である。 b × 第一次予防の対策である。 c × 第三次予防の対策である。 d ○ 第二次予防の早期処置として行われる。</p> <p>文献 : 口腔衛生学・歯科衛生統計 63-74 最新歯科衛生士教本 保健生態学 87、146-149</p>												
44	<p>学校歯科健康診断の歯式欄の集計結果をもとにした表を示す。ただし、健康診断の対象者は 10 人、/、C と ○ はすべて永久歯である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歯式</th> <th>/</th> <th>C</th> <th>○</th> <th>×</th> <th>△</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本数</td> <td>280</td> <td>28</td> <td>56</td> <td>14</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>結果から求められるのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 齲蝕有病者率 b 齲蝕増加率 c DMFT 指数 d DMF 歯率</p> <p>▶ keyword : 学校歯科健康診断</p>	歯式	/	C	○	×	△	本数	280	28	56	14	0	<p>解答 : c, d</p> <p>a × C をもっている人数 (DMF 者数) が不明であるため求められない。 b × 一時点の結果では求められない。 c ○ $(28+56)/10=8.4$ d ○ $(28+56)/280 \times 100=30\%$</p> <p>文献 : 口腔衛生学・歯科衛生統計 185 最新歯科衛生士教本 保健生態学 263-264</p>
歯式	/	C	○	×	△									
本数	280	28	56	14	0									

問題 A		解答・解説	
45	口臭の予防で適切なものはどれか。2つ選べ。 a ベリクルの除去 b プラークの除去 c 舌苔の除去 d ステインの除去	解答: b, c 口臭の予防としては、プラークや舌苔の除去が原則である。また、歯周疾患の治療は口臭の抑制に通じる。そのほか、抗菌効果のある洗口剤を用いた化学的な清掃、塩化亜鉛洗口剤の利用、口腔の自浄作用の活性化などがあげられる。 a × ベリクルには細菌が存在しないので、その除去には口臭を抑制する効果を期待できない。 b ○ c ○ d × ステインは外来性色素沈着物である。その原因はお茶、コーヒー、タバコ、各種薬剤および金属性粉塵などである。	文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 108-110 最新歯科衛生士教本 保健生態学 196-197
衛生学・公衆衛生学			
46	「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されているのはどれか。 a ヘルスプロモーション b プライマリーヘルスケア c クオリティオブライフ d ノーマライゼーション	解答: a カナダのオタワで開催された第1回ヘルスプロモーションに関する国際会議の声明(オタワ憲章)において、ヘルスプロモーションの定義・意義が示された。 a ○ b × プライマリーヘルスケアは、地域に住むすべての個人や家族にもたらされる基本的ヘルスケアである。その統一理念はアルマ・アタ宣言として採択されている。 c × 生活の質のことである。 d × 地域社会の中でなんらかの障害をもった人ができる限り健常者と同じような社会生活ができるようにすることである。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 4-7
47	わが国の人口統計(2006年)の数値で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 老年人口割合: 20.8% b 合計特殊出生率: 0.64 c 平均寿命(男): 85.8年 d 65歳以上死亡割合: 82.6%	解答: a, d わが国の人口統計は、「人口動態統計」(厚生労働省)、「国勢調査報告」(総務省統計局)などから知ることができる。 a ○ 65歳以上が老年人口に分類され、全人口に占める割合は20.8%であった。 b × 女子(15~49歳)の年齢別出生率の合計で、1.32であった。0.64は総再生産率と純再生産率である。 c × 男の平均寿命は79.0年で、女が85.8年であった。 d ○ 65歳以上死亡割合は82.6%であった。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 18-31
48	室内の微気流の測定に適しているのはどれか。 a カタ寒暖計 b 黒球寒暖計 c アウグスト乾湿計 d アスマン通風乾湿計	解答: a 人体の温熱感覚に関係する温熱環境因子は、気温、気湿、気流および輻射熱であり、各種の測定器具がある。 a ○ 空気のもつ冷却力を測定するために考案されたが、微気流の測定にも応用されている。 b × 輻射熱の測定に用いられる。 c × 気温と気湿の測定に用いられる。 d × 気温と気湿の測定に用いられる。気流や輻射熱の影響を受けないような構造になっている。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 40

問題 A		解答・解説	
49	水道法に基づく水質検査項目で、し尿汚染の指標となるのはどれか。2つ選べ。 a 臭素酸 b 大腸菌 c シアン化物 d 亜硝酸性窒素	解答: b, d 水道法における水質基準には、「健康に関連する項目(31項目)」と「水道水が有すべき性状に関する項目(20項目)」とがある。 a × 消毒副生成物汚染の指標である。 b ○ し尿汚染の指標の1つである。 c × 工場排水等による汚染指標である。 d ○ し尿汚染指標の1つである。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 42-45
50	地球環境の変化とその原因との組合せで正しいのはどれか。 a 砂漠化——家畜の過放牧 b 酸性雨——フロンガス c 温暖化——光化学オキシダント d オゾン層破壊——自動車排気ガス	解答: a 地球環境の変化のおもな原因は、事業活動等の人為的なものによる。 a ○ 家畜の過放牧や薪炭材の過剰伐採などが原因である。 b × 硫酸酸化物や窒素酸化物がおもな原因である。 c × 二酸化炭素やメタンがおもな原因である。 d × フロンガスがおもな原因である。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 49-51
51	廃棄物処理について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 一般廃棄物の処理責任は排出者にある。 b 感染性廃棄物は処理の直前に分別する。 c 使用済みのエックス線現像液は産業廃棄物である。 d 医療施設の使用済み注射針は特別管理産業廃棄物である。	解答: c, d 廃棄物は廃棄物処理法により一般廃棄物と産業廃棄物に分類される。一般廃棄物の処理責任は市町村、産業廃棄物の処理責任は排出事業者にある。 a × 処理責任は市町村にある。 b × 排出された時点で分別する。 c ○ d ○ 医療施設から排出される使用済み注射針、血液付着のゴム手袋等が該当する。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 55-58
52	喫煙習慣の有無と肺癌発生との関連について今後20年間にわたって調査をすることになった。この疫学調査の方法はどれか。 a 介入研究 b 患者対照研究 c コホート研究 d 横断研究	解答: c 疫学研究は記述疫学、分析疫学および介入研究に分類される。記述疫学は疾病の分布上の特徴を調べ、病因に対する仮説を設定することが目的である。分析疫学は設定された病因と疾病との関連性を調べる。分析疫学は時間的経過により、横断研究と縦断研究に分類される。縦断研究には疾病の有無に着目する患者対照研究と、病因因子の曝露の有無に着目するコホート研究がある。介入研究(疫学)は疑われる要因を人為的に集団に与えたり、除いたりして疾病の発生状況を観察する。 a × b × 疾病の有無に着目していない。 c ○ d × 特定時点における調査結果を検討する。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 10-16

問題 A		解答・解説	
53	<p>再興感染症はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 結核 b エイズ c マラリア d 新型インフルエンザ</p> <p>▷ keyword : 感染症、新興感染症、再興感染症</p>	<p>解答: a、c</p> <p>再興感染症は再び流行しはじめた感染症、新興感染症はかつて知られていなかった感染症である。</p> <p>a ○ b × 新興感染症である。 c ○ d × 新興感染症である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 64-65</p>	
54	<p>わが国における食中毒の病因別発生事件数の割合(2007年)を図に示す。</p>  <p>①はどれか。</p> <p>a 細菌 b 自然毒 c ウイルス d 化学物質</p> <p>▷ keyword : 食中毒</p>	<p>解答: c</p> <p>わが国の食中毒の病因は、例年、細菌によるものが最も多いが、近年ウイルスによるものが増加傾向にある。</p> <p>a × 約57%を占めていた。 b × 約9%であった。 c ○ 約27%を占めていた。 d × 約1%であった。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 75-79</p>	
55	<p>わが国の母子保健について正しいのはどれか。</p> <p>a 母子健康手帳は都道府県が交付する。 b 新生児死亡は生後1年未満の死亡である。 c 3歳児健康診査は母子保健法に基づき実施される。 d 1~4歳の死亡原因の第1位は肺炎である。</p> <p>▷ keyword : 母子保健対策、母子保健統計指標</p>	<p>解答: c</p> <p>わが国の母子保健対策は母子保健法を中心に実施されている。母子保健の現状は母子保健統計指標から知ることができる。</p> <p>a × 市町村が交付する。 b × 生後4週未満を新生児という。生後1年未満の死亡は乳児死亡である。 c ○ 1歳6か月児健康診査も母子保健法による。 d × 最も多いのは不慮の事故である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 241-245</p>	

問題 A		解答・解説	
56	<p>局所振動工具の使用により発生する疾患の予防にもっとも有効なのはどれか。</p> <p>a 健康管理 b 作業管理 c 健康教育 d 作業環境管理</p> <p>▷ keyword : 産業保健、職業性疾患</p>	<p>解答: b</p> <p>職業性疾患の要因は、一般に物理的要因、化学的要因、生物学的要因、作業要因および社会的要因に分類される。さらに労働衛生管理の基本は3つの管理、すなわち、作業環境管理、作業管理、健康管理と健康教育である。</p> <p>a × 健康診断等が該当する。 b ○ 作業方法に起因する疾患予防に有用である。チェーンソーによる白ろう病が有名である。 c × 3つの管理が事業所で相互に円滑に、そして効果的に推進されるためには事業者や労働者に対する労働衛生教育が重要である。 d × 作業環境を的確に把握し、種々の要因を除去し、良好な作業環境をつくることである。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 285-286</p>	
57	<p>法規と内容との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a 労働安全衛生法——職域健康診断 b 地域保健法——国民健康・栄養調査 c 学校教育法——小学校児童の健康診断 d 高齢者の医療の確保に関する法律——35歳以上の者の特定健康診査</p> <p>▷ keyword : 衛生行政法</p>	<p>解答: a</p> <p>わが国の衛生行政は対象により、衛生行政(一般衛生行政)、学校保健行政、労働衛生行政にわけられている。</p> <p>a ○ 「労働安全衛生法」は、働く人々に対する健康診断の実施を義務づけている。 b × 国民健康・栄養調査は「健康増進法」に基づいて実施される。 c × 学校での健康診断は「学校保健安全法」により規定されており、学校とは幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学および高等専門学校をさす。保育園は厚生労働省の所管となる。 d × 「高齢者の医療の確保に関する法律」では、75歳以上の者または65歳以上75歳未満の寝たきりの状態にある者を対象に医療費給付を行う。また、40歳以上の者を対象に特定健康診査および特定保健指導を実施する。</p> <p>文献: 衛生行政・社会福祉 13、49-53、61</p>	
58	<p>国が実施する統計調査で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯科疾患実態調査は指定統計に分類される。 b 合計特殊出生率は人口動態調査に基づいて算出される。 c 国勢調査は全国民を対象としている。 d 歯科衛生士調査は毎年実施される。</p> <p>▷ keyword : 国家統計</p>	<p>解答: b、c</p> <p>わが国では国家レベルのさまざまな統計調査が実施されている。</p> <p>a × 国民の歯科疾患と歯科保健の実態を明らかにし、歯科保健対策の推進に必要な基礎資料を得るために6年ごとに実施されている。承認統計である。 b ○ 「人口動態調査」は出生、死亡、婚姻、離婚および死産の発生状況を戸籍法などによる届出に基づき毎年公表されており、これにより15~49歳までの女子の年齢別出生率を合計したものが「合計特殊出生率」である。2006年は1.32、2007年は1.34、2008年は1.37であった。 c ○ 全国民を対象とし、人口数と人口集団の生物学的、社会的特性を把握する調査で5年ごとに10月1日午前0時現在の状況について居住地を基本として実施される。 d × 歯科衛生士は歯科衛生士法第6条第3項の規定により、2年ごとに就業地の保健所(都道府県知事)に勤務状況を届け出なければならない。</p> <p>文献: 衛生行政・社会福祉 26-28</p>	

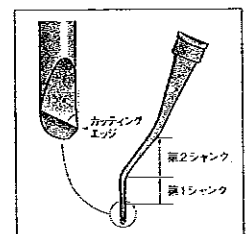
問題 A		解答・解説	
59	<p>身体に障害がある児童に対する医療援助を規定しているのはどれか。</p> <p>a 母子保健法 b 児童福祉法 c 学校保健安全法 d 障害者自立支援法</p> <p>▶ keyword : 障害者自立支援法</p>	<p>解答 : d</p> <p>乳幼児を対象とするおもな公費負担医療は未熟児養育医療、小児慢性特定疾患治療研究事業、自立支援医療がある。それぞれ規定する法律が異なるため疾患の種類や年齢制限などの支給の要件が異なる。</p> <p>a × 未熟児養育医療を規定している。 b × 結核児童に対する入院療育医療を規定している。 c × 経済的困難にある家庭の児童生徒に、特定の病気になった場合、国と自治体が治療費を負担することについて規定している。 d ○ 障害者の自立支援を目的とした医療給付を含む福祉サービスの実施について規定している。</p> <p>文献 : 衛生行政・社会福祉 84-86</p>	
60	<p>要介護 2 に認定された者が受けることができる歯科医師の業務となっている介護サービスはどれか。</p> <p>a 訪問看護 b 訪問介護 c 居宅介護支援 d 居宅療養管理指導</p> <p>▶ keyword : 介護保険法</p>	<p>解答 : d</p> <p>介護保険は要介護状態になった高齢者等に、介護や機能訓練等の保健・医療・福祉にわたる介護サービスを本人の選択に基づき、総合的に利用できることを目的につくられた新しい社会保険制度である。</p> <p>a × 訪問看護とは訪問看護ステーションから、病気や障害をもった人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスである。 b × 介護保険法において「要介護者又は要支援者であつて、居宅において介護を受けるものについて、その者の居宅において介護福祉士その他厚生労働省令で定める者により行われる入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話であつて、厚生労働省令で定めるもの」と定義されている。 c × 介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護を必要としている者に応じた介護サービス計画（ケアプラン）を作成したり、介護認定の申請手続きや更新手続きの申請代行を行う。 d ○ 要介護者の居宅に病院、診療所、薬局または訪問看護ステーションの医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、看護職（保健師、看護師、准看護師含む）または管理栄養士が訪問し、居宅における療養上の管理および指導を行う。</p> <p>文献 : 衛生行政・社会福祉 61-64</p>	
栄養指導			
61	<p>次の文で [] に入る語句の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>タンパク質の生理学的燃焼値は物理学的燃焼値よりも [①] い。その理由はタンパク質を構成する窒素が [②] として尿中に排泄されるためである。</p> <p>① ②</p> <p>a 高 アンモニア b 高 尿素 c 低 アンモニア d 低 尿素</p> <p>▶ keyword : 物理学的燃焼値、生物学的燃焼値</p>	<p>解答 : d</p> <p>栄養素のうち、体内でエネルギーを産生するのは三大栄養素（糖質、脂質、タンパク質）である。物理学的燃焼値とはボンブカロリメーターで栄養素を燃焼させたときのエネルギー発生量をさし、生理学的燃焼値とは生体内で栄養素を燃焼させたときのエネルギー発生量をいう。糖質と脂質では生理学的燃焼値と物理学的燃焼値は同じであるが、タンパク質では構成元素である窒素が尿素として尿中に排泄されるため、タンパク質の生理学的燃焼値は物理学的燃焼値よりも低い値となる。また、生理学的燃焼値に消化吸収率を乗じた数値をアトウォーターのエネルギー換算係数という。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 24-25</p>	

問題 A		解答・解説	
62	<p>一価不飽和脂肪酸はどれか。</p> <p>a オレイン酸 b リノール酸 c アラキドン酸 d パルミチン酸</p> <p>▶ keyword : 一価不飽和脂肪酸</p>	<p>解答 : a</p> <p>一価不飽和脂肪酸とは二重結合を 1 個もつ不飽和脂肪酸のことで、二重結合を 2 個以上もつ不飽和脂肪酸を多価不飽和脂肪酸とよぶ。</p> <p>a ○ b × リノール酸は多価不飽和脂肪酸である。 c × アラキドン酸は多価不飽和脂肪酸である。 d × パルミチン酸は飽和脂肪酸である。</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 61-62</p>	
63	<p>無機質はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a リン b 炭素 c 酸素 d 鉄</p> <p>▶ keyword : 無機質</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>無機質は五大栄養素の 1 つで、ミネラルともよばれる。生体で合成されない微量元素を指し、有機質を構成する元素（炭素・水素・窒素・酸素）以外の元素をいう。</p> <p>a ○ b × c × d ○</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 71-77</p>	
64	<p>アスパルテームを構成するのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a フェニルアラニン b アスパラギン酸 c グルコース d ガラクトース</p> <p>▶ keyword : アスパルテーム</p>	<p>解答 : a, b</p> <p>アスパルテームはアミノ酸であるフェニルアラニンとアスパラギン酸よりなるペプチドで、ショ糖の約 180 倍の甘味度をもつ非醗酵性甘味料である。</p> <p>a ○ b ○ c × d ×</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 104</p>	
65	<p>正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 基礎代謝は安静仰臥位で測定する。 b 体重あたりの基礎代謝量は年齢の増加により上昇する。 c 睡眠時のエネルギー代謝量は基礎代謝量のおよそ 1.2 倍である。 d 基礎代謝量は筋肉量に比例する。</p> <p>▶ keyword : 基礎代謝量</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>a ○ 基礎代謝量の測定は早朝空腹時に快適な温度環境（20～25℃）下で、安静仰臥位、覚醒状態で測定する。 b × 体重あたりの基礎代謝量は乳幼児が最も高く、年齢の増加により順次低下する。 c × 睡眠時のエネルギー代謝量は基礎代謝量と同じである。 d ○ 基礎代謝量は筋肉量に比例し、筋肉労働者やスポーツマンは高い。</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 26-27</p>	
66	<p>唾液の成分とその働きとの組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a アミラーゼ——抗菌作用 b 糖タンパク質——ペリクルの形成 c 重炭酸塩——緩衝作用 d リゾチーム——消化作用</p> <p>▶ keyword : 唾液アミラーゼ、ペリクル、緩衝作用、リゾチーム</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>a × 唾液アミラーゼは消化作用を示し、デンプンを麦芽糖にまで分解する。 b ○ 唾液の糖タンパク質はペリクルを形成する。 c ○ 唾液の緩衝作用は重炭酸塩とリン酸塩によるが、そのうち約 85% は重炭酸塩による。 d × リゾチーム、分泌型 IgA、ラクトフェリン、ペルオキシダーゼ、ロダン塩は抗菌作用を示す。</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 229-235</p>	

問題 A		解答・解説	
67	正しいのはどれか。 a カルシトニンは骨吸収を促進する。 b インスリンは肝グリコーゲンの分解を促進する。 c グルカゴンは肝グリコーゲンの合成を促進する。 d チロキシンは基礎代謝を増加する。	解答: d a × カルシトニンは甲状腺から分泌されるホルモンで、骨吸収を抑制し、血中カルシウム濃度を低下させる。 b × インスリンは膵臓ランゲルハンス島 B 細胞から分泌されるホルモンで、肝グリコーゲンの合成を促進し、血糖値を低下させる。 c × グルカゴンは膵臓ランゲルハンス島 A 細胞から分泌されるホルモンで、肝グリコーゲンの分解を促進し、血糖値を上昇させる。 d ○ チロキシン (サイロキシン) は甲状腺ホルモンのことで、基礎代謝を増加する。	文献: 栄養指導・生化学 176-178、224
▶ keyword: カルシトニン、インスリン、グルカゴン、チロキシン			
68	DNA においてグアニンと相補的塩基対を形成するのはどれか。 a アデニン b シトシン c チミン d ウラシル	解答: b DNA は生命の設計図とよばれる物質で、デオキシリボース (糖)、リン酸、塩基から構成される核酸である。DNA の塩基にはアデニン (A)、グアニン (G)、シトシン (C)、チミン (T) の 4 種類があり、A と T、G と C が水素結合によって相補的塩基対を形成している。 a × アデニンはチミンと相補的塩基対を形成する。 b ○ c × チミンはアデニンと相補的塩基対を形成する。 d × ウラシルは RNA を構成する塩基である。	文献: 最新歯科衛生士教本 化学 158-160
▶ keyword: DNA、塩基対			
69	コラーゲンの構成アミノ酸でもっとも多いのはどれか。 a ヒドロキシプロリン b ヒドロキシリシン c プロリン d グリシン	解答: d コラーゲンは結合組織に存在する線維状タンパク質であり、ヒトでは体タンパク質の約 1/3 を占める。コラーゲンのアミノ酸組成には偏りがあり、グリシンが約 1/3、プロリンおよびヒドロキシプロリンが約 1/5、アラニンが約 1/10 を占めている。また、コラーゲンに特有のアミノ酸としてヒドロキシプロリン、ヒドロキシリシンを含むのが特徴となっている。 a × b × c × d ○	文献: 栄養指導・生化学 193-196
▶ keyword: コラーゲン、アミノ酸組成			
70	含硫アミノ酸はどれか。2つ選べ。 a システイン b アラニン c ロイシン d メチオニン	解答: a、d 含硫アミノ酸とは、分子構造中に硫黄 (S) を含むアミノ酸のことで、メチオニンとシステインをさす。 a ○ b × c × d ○	文献: 栄養指導・生化学 185 五訂食品成分表 2009 資料編 (女子栄養大学出版) 77
▶ keyword: 含硫アミノ酸			

問題 A		解答・解説	
歯科予防処置			
71	歯周疾患の第一次予防はどれか。2つ選べ。 a 禁煙 b ルートプレーニング c PMTC d 歯周外科処置	解答: a、c a ○ 第一次予防は口腔清掃や生活習慣に注意して歯周疾患にかからないよう予防対策をとることである。健康増進と特異的防御がある。禁煙は健康増進対策であるので第一次予防となる。 b × 歯周疾患の第二次予防は歯周疾患が重度に進行するのを防ぐ意味の予防である。ルートプレーニングは第二次予防となる。 c ○ d × 歯周外科は機能喪失阻止を目的とした予防対策なので第二次予防となる。	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 185
▶ keyword: 歯周疾患の予防段階			
72	歯石を触知できる器具はどれか。2つ選べ。 a ミラー b プローブ c エキスプローラー d ピンセット	解答: b、c 歯石の探知は歯石沈着の状態を確認することで、スケーリングの計画を立てる上で、重要な要素である。特に歯肉縁下歯石の確認は、肉眼では行えないことが多いので、器具の目的と使用方法を十分習得する必要がある。 a × 歯石の鏡視や歯石除去時の間接反射に用いる。 b ○ おもに歯周ポケットの深さを測定する目的で用いられるが、プロービング時には、縁下プラークや縁下歯石の有無や位置も確認できる。 c ○ スケーリング、ルートプレーニングの術前・術中の歯石の探査ならびに術後の評価に用いる。 d × 歯の動揺度を診査するとき用いる。	文献: 歯科予防処置 32-48、122
▶ keyword: 歯石触知			
73	45歳の男性。スケーリングを希望して来院した。糖尿病に罹患しており通院しながら食事療法と運動療法を行っているとのことである。最近の検査結果では HbA1c 値は 6%であった。正しいのはどれか。2つ選べ。 a HbA1c 値は基準値を超えている。 b 手用スケーラよりも超音波スケーラー使用が適している。 c 易感染性であるためスケーリング時の感染予防に注意する。 d 歯周組織の健康状態が糖尿病にも関与することを伝える。	解答: c、d 糖尿病は歯周組織感染症の重要なリスク因子である。糖尿病に関連して発症しやすい口腔所見も多くある。 a × HbA1c は糖尿病の過去 1~2 カ月間の血糖コントロール状態を示し、その基準値は 4.0~6.0% である。 b × とくに重篤な糖尿病がある場合は、超音波スケーラーの使用は避ける。 c ○ 糖尿病患者は、免疫力が低下し、易感染性となっているため歯周疾患の悪化や治癒の遅延を招きやすい。スケーリングにおいても術後の感染予防には注意が必要である。 d ○ 歯周組織の健康状態がコントロールされていない場合は、血糖値に変化を与えることを伝え、口腔の健康状態が糖尿病にも影響を与えることを伝えるとよい。	文献: 歯科予防処置 150-151、164-165 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 128-129
▶ keyword: 糖尿病患者へのスケーリング操作上の注意			

問題 A		解答・解説	
<p>74 健康な歯肉とその状態との組合せで誤っているのはどれか。</p> <p>a 辺縁歯肉——クレフト型 b 付着歯肉——スティッピング c 歯間乳頭——クレーター型 d 歯肉の色——淡いピンク</p> <p>▶ keyword : 歯周組織、歯肉</p>	<p>解答 : c</p> <p>正常な歯肉の状態を理解することにより、その差異から病的歯肉の把握が可能である。</p> <p>a ○ 辺縁歯肉は遊離歯肉ともよばれ、歯との間には1~2mmの深さがあり歯肉溝とよばれる。 b ○ 付着歯肉は歯根や歯槽骨に付着している歯肉を意味しており、遊離歯肉溝底から歯肉歯槽粘膜境までをいう。健康な歯肉にはスティッピングが認められる。 c × 歯間乳頭は歯間部空隙を満たす歯肉で、正常な形は三角形、扇状、ピラミッド状などといわれる。 d ○ 正常な歯肉の色は淡いピンク（コーラルピンク）といわれるが、上皮の厚さや角化の程度、メラニンの色素沈着などにより変化してくる。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 121-122 ポイントチェック⑤ 4-5</p>		
<p>75 下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。歯肉縁上歯石は歯肉縁より歯冠側に沈着している。沈着しやすい部位は下顎第一大臼歯頰側面と前歯舌側面である。歯肉縁下歯石は歯肉縁より根尖側に形成されたものである。色は暗褐色や暗緑色でスケララーで容易に除去できる。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : 歯肉縁上歯石、歯肉縁下歯石</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>歯肉縁上歯石は歯肉縁より歯冠側に沈着している。沈着しやすい部位は、唾液腺の開口部に近い、上顎第一大臼歯頰側面と下顎前歯舌側面である。歯肉縁下歯石は歯肉縁より根尖側に形成されたものである。色は暗褐色や暗緑色で、歯面に強固に付着しているため除去しにくい。</p> <p>a ○ b × c ○ d ×</p> <p>文献 : 歯科予防処置 22-23 ポイントチェック⑤ 4-5</p>		
<p>76 歯周疾患発症機序の一部を示す。□に入る語句の組合せで正しいのはどれか。はじめに歯面に①が形成され、②がそこに付着することにより歯肉縁上プラークが形成される。数日後には③が定着し、プラークの蓄積した歯の辺縁歯肉やコルに④が起こる。</p> <p>a ①タッグ ②グラム陰性菌 ③グラム陽性菌 ④歯周炎 b ①ペリクル ②グラム陽性菌 ③グラム陰性菌 ④歯肉炎 c ①ステイン ②グラム陽性菌 ③グラム陰性菌 ④歯周炎 d ①マテリアアルバ ②グラム陰性菌 ③グラム陽性菌 ④歯肉炎</p> <p>▶ keyword : ペリクル、口腔内常在菌、プラークの形成機序</p>	<p>解答 : b</p> <p>まず歯面にペリクル（獲得皮膜）が形成され、24時間経過でグラム陽性菌が増加、ペリクルに付着し歯肉縁上プラークの形成に影響を及ぼすようになる。6~10日経過でグラム陰性嫌気性菌が増加する。プラークが辺縁歯肉に蓄積し、歯肉炎が起こる。</p> <p>a × タッグは小窩裂溝填塞法で酸処理後にみられるエナメル小柱と填塞材が重なったもので、填塞材を保護するものである。 b ○ c × ステインは外来性の色素沈着物（たばこのヤニ、茶渋など）や色素産生菌によって歯の表面に付着した汚れである。 d × マテリアアルバ（白質）はプラークの外側を覆う脆弱な白色の沈着物であり、強い洗口やスプレー洗浄で除去できる。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 21-23 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 43</p>		

問題 A		解答・解説	
<p>77 偶発事故予防対策として正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 患者の全身状態を的確に把握する。 b 切れ味の鈍いスケララーを使用する。 c 過去の歯科治療の体験を確認する必要はない。 d スケーリング時には防護眼鏡を着用する。</p> <p>▶ keyword : 偶発事故の予防</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>偶発事故は気持ちの緩みや器具の点検不備、スタッフや患者との対話不足などに起因する場合が多い。器具の細部にわたる点検、細やかなコミュニケーションによって防ぐことができる。</p> <p>a ○ 患者の全身状態を的確に把握することは、院内感染や脳貧血、薬物による事故の予防になる。 b × 切れ味の鈍いスケララーを使用することによって、器具による軟組織の損傷を防ぐことができる。 c × 脳貧血の発現を未然に防ぐことにつながる。 d ○ スケーリング時、防護眼鏡を着用することによって、院内感染の予防になる。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 150-158</p>		
<p>78 グレーシータイプキュレット（#13）の構造を図に示す。</p>  <p>第1シャンクに対する刃部内面の傾斜角度で正しいのはどれか。</p> <p>a 10度 b 20度 c 45度 d 70度</p> <p>▶ keyword : グレーシータイプキュレット</p>	<p>解答 : d</p> <p>グレーシータイプキュレットは、刃部内面が第1シャンクに対して70度の角度に傾斜している。第1シャンクはローワーシャンク、第2シャンクはアッパーシャンクともいう。</p> <p>a × b × c × d ○</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 138</p>		
<p>79 シャーピングについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a アーカンソー砥石に適した潤滑剤は水である。 b 粒子の細かい砥石を使用した後、粗い砥石を使用する。 c 切れ味が鈍ったらシャーピングを行う。 d 切れ味の確認を行う。</p> <p>▶ keyword : シャーピング</p>	<p>解答 : c, d</p> <p>シャーピングとは、刃の原形（角度）を維持しながら、変形した刃部を砥石でより減らしてもとの切れ味に復元させる操作のことである。</p> <p>a × アーカンソー砥石に適した潤滑剤は鉱物油である。 b × 粗い砥石を使用した後、仕上げに細かい砥石を使用する。 c ○ d ○</p> <p>文献 : 歯科予防処置 103-115</p>		

問題 A		解答・解説	
80	<p>写真(別冊 No. 4)を別に示す。歯面清掃器を用いる際のチップの角度で正しいのはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: 歯面清掃器</p>	<p>解答: a</p> <p>歯面清掃器は、エアと重炭酸ナトリウム入りのクリーニングパウダーの混合体が強圧で噴射される。そのため、ポケット内での直接使用は、気腫をつくる可能性があり避けるべきである。歯面とチップの角度は 60 度で、歯頸側から切端咬合面方向に使用する。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献: 歯科予防処置 54-55、178</p>	
81	<p>3/4 唇側面・歯の左半分のスケーラー操作で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 術者のポジションは 11 時~1 時がよい。 b 常に始点、終点のはっきりした操作を行う。 c グレーシータイプキュレットは #7 を使用する。 d 患者頭部はやや左に傾ける。</p> <p>▶ keyword: スケーラー操作法</p>	<p>解答: a、b</p> <p>a ○ b ○ c × グレーシータイプキュレットは #5 を使用する。 d × 患者頭部はやや右に傾ける。</p> <p>文献: 歯科予防処置 100、128</p>	
82	<p>#13/14 のグレーシータイプキュレットの使用部位はどれか。</p> <p>a 前歯部 b 白歯部頬舌側面 c 白歯部遠心隣接面 d 白歯部近心隣接面</p> <p>▶ keyword: グレーシータイプキュレット</p>	<p>解答: c</p> <p>a × 前歯部用は #1/2、3/4 である。 b × 白歯部頬舌側面用は #7/8、9/10 である。 c ○ d × 白歯部近心隣接面用は #11/12 である。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 138</p>	
83	<p>キュレットの操作角度はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 45~90 度 b 70~85 度 c 90 度 d 180 度</p> <p>▶ keyword: スケーラー操作法</p>	<p>解答: a、b</p> <p>使用するスケーラーによって歯面に対する適正角度は異なる。歯面に対する操作角度が小さすぎると、歯面に不当な損傷を与えることになる。また、大きすぎると歯石除去はできない。適切な操作角度を維持して操作をすることが重要である。キュレットにはグレーシータイプとユニバーサルタイプがあり、歯面に対する操作角度が異なる。</p> <p>a ○ 45~90 度はグレーシータイプキュレットの操作角度である。 b ○ 70~85 度はユニバーサルタイプキュレットおよび鎌型スケーラーの操作角度である。 c × 90 度は鉤型スケーラーの操作角度である。 d × 180 度はのみ型スケーラーの操作角度である。</p> <p>文献: 歯科予防処置 40-50、64-70</p>	

問題 A		解答・解説	
84	<p>超音波スケーラーで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a キャビテーション効果がある。 b チップと歯面との角度は 90 度で操作する。 c 水流でチップの冷却を行う。 d 出力は高出力を保って操作する。</p> <p>▶ keyword: 超音波スケーラー</p>	<p>解答: a、c</p> <p>a ○ b × チップと歯面との角度は約 15 度で操作する。 c ○ d × 出力は歯石の沈着状態によって調節する。</p> <p>文献: 歯科予防処置 164-168 ポイントチェック⑤ 12-13</p>	
85	<p>超音波スケーラーの操作法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ハンドピースは改良執筆状把持法で把持する。 b 固定は口腔外や軟組織に取ってもよい。 c 常に側方圧を強くかけて行う。 d 強固な歯石の除去には圧をかけるとうよい。</p> <p>▶ keyword: 超音波スケーラーの操作法</p>	<p>解答: a、b</p> <p>a ○ ハンドピースは軽く改良執筆状把持法で持ち、触覚が伝わるようにする。 b ○ 歯面に対して力や圧を必要としないため、硬組織に固定を求める必要はない。 c × チップは常にフェザータッチで動かす。 d × 除石圧は習熟度により異なるが、40~80g を基本とし、それ以上の圧は歯面を損傷したりチップの振動を鈍らせるので避ける。強固な歯石には、ストロークを重ねて除去する。</p> <p>文献: 歯科予防処置 164-168 ポイントチェック⑤ 12-13</p>	
86	<p>写真(別冊 No. 5)を別に示す。この器具について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 振動数は 25,000 Hz~42,000 Hz である。 b エアタービン用の圧搾空気を利用する。 c チップは点接触で操作する。 d ルートプレーニングに適している。</p> <p>▶ keyword: エアスケーラー</p>	<p>解答: b、c</p> <p>a × 写真はエアスケーラーである。超音波スケーラーの振動数が 25,000 Hz~42,000 Hz であるのに対し、エアスケーラーは 2,000~6,600 Hz と約 1/10 の振動数である。 b ○ c ○ d × エアスケーラーはルートプレーニングには不適である。</p> <p>文献: 歯科予防処置 174</p>	
87	<p>スケーリング後、ポケットが 5 mm 以上の部位を洗浄するよう指示された。口腔内洗浄剤で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a グルタルール b 生理食塩水 c ポビドンヨード d ヨードグリセリン</p> <p>▶ keyword: スケーリング後の処置、洗浄、貼薬</p>	<p>解答: b、c</p> <p>通常、スケーリング後の歯面研磨の後に隣接面や歯頸部、歯肉溝内に残存する研磨剤を完全に除去するためにスリーウェイシリンジのスプレー洗浄を行うことは一般的である。しかし、歯周ポケットが深い箇所には部分的に洗浄用シリンジを用いた薬剤での洗浄を行う場合がある。ポケット内の研磨剤やその他の異物を除去すると同時に歯肉に適度な刺激を与える。口腔内洗浄剤として、生理食塩水(0.9%)、オキシドール、アクリノール液(0.1%)、ヒビテン液(0.05%)などがある。</p> <p>a × 医療用器具の消毒剤である。特に感染の危険の高い HBV、HIV にも有効な消毒剤であるが、手指・皮膚、粘膜には使用不可である。 b ○ c ○ 手指・皮膚、粘膜に使用可能なヨード系の消毒剤である。含嗽剤、外用薬として用いられる。 d × 一般的に希ヨードチンキなどと同様、貼薬に用いられる薬剤である。</p> <p>文献: 歯科予防処置 148-149 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 23</p>	

問題 A	解答・解説
<p>88 プローブの使用目的で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 接触点の状態の確認 b 歯の動揺度の診査 c 出血部位の探査 d 付着歯肉幅の測定</p> <p>▶keyword: プローブ</p>	<p>解答: c, d</p> <p>歯周組織の検査において、直視できない部位や直視しにくい部位を、プローブを用いて探索することで、多種多様な情報を得ることができる。</p> <p>a × 接触点の状態の確認は、コンタクトゲージやデンタルフロスを使用する。 b × 歯の動揺度の診査には、ピンセットを用いる。 c ○ 歯肉やポケットからの出血の有無を確認する。 d ○ 付着歯肉幅は、プローブを用い、歯肉辺縁から歯肉歯槽粘膜境までの長さから、ポケットの深さを引くことで求められる。</p> <p>文献: 歯科予防処置 122-126 ポイントチェック⑤ 6-7</p>
<p>89 プローブの操作法で誤っているのはどれか。</p> <p>a 隣接面の挿入時は歯軸方向にこだわらなくてよい。 b 測定時はウォーキングストロークで行う。 c 必要に応じて手指の固定を行う。 d 25g は適切なプロービング圧の範囲である。</p> <p>▶keyword: プローブの操作法</p>	<p>解答: c</p> <p>プローブは改良執筆状把持法で把持し、測定歯または隣に歯に固定を置き操作する。プローブの側面をできるだけ歯軸と平行にし、縁下に軽い圧 (20~25g) でゆっくり挿入する。</p> <p>a ○ 隣接面は歯軸方向にこだわらず、プローブを少し傾斜させてコンタクト下を測定する。 b ○ ウォーキングストロークとはプローブを歯周ポケット内に挿入したまま 1~2mm の間隔で上下に動かしながら測定していく方法である。 c × 手指の固定は必ず行う。 d ○</p> <p>文献: 歯科予防処置 124 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 116-117</p>
<p>90 アタッチメントレベルについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a セメント-エナメル境が基準となる。 b 歯肉の腫脹によって値が増加する。 c 歯槽骨の吸収と関係が深い。 d 歯根露出した症例ではプロービングの深さと同じ値になる。</p> <p>▶keyword: アタッチメントレベル</p>	<p>解答: a, c</p> <p>a ○ ポケットデプスの測定時に基準点として、不変的なセメント-エナメル境を設定し歯肉と歯根間の付着量の変化を知ることができる。 b × 歯肉辺縁は計測しない。 c ○ d × この症例の場合アタッチメントレベルの値は、セメント-エナメル境からポケット底部までの計測値であり、プロービングデプスは歯肉辺縁からポケット底部までの距離なので、それぞれの値は異なる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 179-180</p>

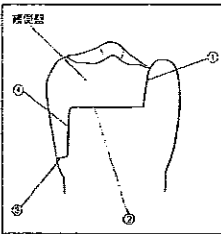
問題 A	解答・解説
<p>91 PMTC について誤っているのはどれか。</p> <p>a スケーリングを済ませてから実施する。 b 深い小窩裂溝にはプラスチックチップを使用する。 c 最後に知覚過敏防止のためにフッ化物塗布を行う。 d 隣接面には前後運動する専用のハンドピースを用いる。</p> <p>▶keyword: PMTC</p>	<p>解答: b</p> <p>PMTC は、歯科医師や歯科衛生士が専用の器具を用いて、歯肉縁下 1~3mm のプラークをすべて歯面から機械的に除去することである。</p> <p>a ○ b × 小窩裂溝にはポリッシングブラシが適している。 c ○ 知覚過敏防止のほかに、二次齲蝕、根面齲蝕防止の目的もある。 d ○ V字またはスパチュラ状のエバチップをつけて、歯間部に挿入して使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 132-136</p>
<p>92 フッ化物応用法とフッ化物イオン濃度との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液 (Brudevold I 法) —12,300 ppm b フッ化物洗口法 (毎日法) —900 ppm c 2% フッ化ナトリウム溶液 —9,000 ppm d フッ化物配合歯磨剤 —9,000 ppm</p> <p>▶keyword: フッ化物応用法、フッ化物イオン濃度</p>	<p>解答: a, c</p> <p>フッ化物応用は、その応用方法と使用フッ化物を適切に選択しなければならない。</p> <p>a ○ リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液には、Brudevold I 法と II 法がある。I 法のフッ化物イオン濃度は 12,300 ppm、II 法は 9,000 ppm である。 b × フッ化物洗口法には毎日法と週 1 回法があり、毎日法のフッ化物イオン濃度は 225~450 ppm、週 1 回法は 900 ppm である。 c ○ 2% フッ化ナトリウム溶液のフッ化物イオン濃度は 9,000 ppm である。 d × 日本では薬事法によりフッ化物配合歯磨剤のフッ化物イオン濃度は 1,000 ppm 以下である。</p> <p>文献: 歯科予防処置 208-213 ポイントチェック⑤ 28-30, 33</p>
<p>93 4 歳児 (体重 18 kg) にリン酸酸性フッ化ナトリウム溶液 (Brudevold II 法) を塗布することになった。誤って溶液を飲み込んだ場合、悪心嘔吐が生じる可能性のある最少量はどれか。</p> <p>a 約 3 ml b 約 4 ml c 約 5 ml d 約 6 ml</p> <p>▶keyword: 悪心嘔吐発現量の計算</p>	<p>解答: b</p> <p>悪心嘔吐発現量は体重 1 kg あたり 2 mg であるため、$18 \times 2 = 36$ mg のフッ化物量となる。リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液のフッ化物イオン濃度は 9,000 ppm (0.9%) であり、100 ml 中に 0.9 g のフッ化物が含まれている。溶液 1 ml 中には 0.009 g のフッ化物が含まれている。36 mg すなわち 0.036 g のフッ化物が含まれる溶液量を計算すると 4 ml となる。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 歯科予防処置 211-212 ポイントチェック⑤ 28-30</p>
<p>94 写真 (別冊 No. 6) を別に示す。この齲蝕活動性試験の評価内容と検体との組合せで正しいのはどれか。</p> <p>a 酸産生能測定 — プラーク b 齲蝕抵抗性 — エナメル質 c 還元作用 — 唾液 d 乳酸菌数 — 唾液</p> <p>▶keyword: RD test®</p>	<p>解答: c</p> <p>写真は RD test® の専用ディスクと付属のスポイトである。混合唾液をディスク中央に浸潤させ、透明シールでカバーしたものを上腕部内側に貼り 15 分間放置する。判定は標準比色法で行う。</p> <p>a × カリオスタット® がこれに該当する。 b × エナメルバイオブシー® がこれに該当する。 c ○ d × ハードレイテスト® がこれに該当する。</p> <p>文献: 歯科予防処置 218-219 最新歯科衛生士教本 保健生態学 142-144 ポイントチェック⑤ 27</p>

問題 A		解答・解説	
95	<p>ブラークを検体とする齧蝕活動性試験はどれか。2つ選べ。</p> <p>a カリオスタット® b ミューカウント® c サリバチェックバッファ® d シーエーティ 21 (CAT21) ®</p> <p>▶ keyword : 齧蝕活動性試験</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>齧蝕活動性試験とは、ある個体や歯が齧蝕にかかりやすいか、進行性かを測定するものをいう。齧蝕活動性試験には唾液を検体とするもの、ブラークを検体とするもの、歯を検体とするものがある。</p> <p>a○ カリオスタット®はブラークを検体とする。 b× ミューカウント®は唾液を検体とする。 c× サリバチェックバッファ®は唾液を検体とする。 d○ シーエーティ 21 (CAT21) ®はブラークを検体とする。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 218-220 最新歯科衛生士教本 保健生態学 142-144</p>	
96	<p>フッ化物歯面塗布について正しいのはどれか。</p> <p>a 毎日の応用が効果的である。 b ラバーダム防湿下で行う。 c ガラス容器に溶液を準備する。 d 塗布後 30 分間は飲食を禁止する。</p> <p>▶ keyword : フッ化物歯面塗布</p>	<p>解答 : d</p> <p>歯科医師や歯科衛生士による専門的な齧蝕予防の手段とされるフッ化物塗布については、十分な知識・手技を身につけて対応することが大切である。</p> <p>a× 応用回数は通常年 1~2 回である。 b× コットンロールで簡易防湿して行う。 c× フッ化物は劇物で、ガラスを侵しやすいため、プラスチック容器に準備する。 d○</p> <p>文献 : 歯科予防処置 208-210 ポイントチェック⑤ 28-30</p>	
97	<p>フッ化ジアンミン銀について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a フッ化物が高濃度に含まれている。 b おもに齧蝕の発生予防に用いられる。 c 審美面への事前説明が必要である。 d 歯肉への為害作用はない。</p> <p>▶ keyword : フッ化ジアンミン銀</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>フッ化ジアンミン銀は、存在している齧蝕の進行を抑制する目的で使用され、フッ化物イオン濃度としては約 4.5% と高濃度である。齧蝕が認められる部位の歯質を黒変させるため、塗布前には十分説明を行う。審美面が気になる場合は適応ではない。歯肉に近い部位に塗布するときは、ワセリンなどを前もって塗布し、為害作用が生じないようにする。</p> <p>a○ b× c○ d×</p> <p>文献 : 歯科予防処置 213-215 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 36-37</p>	
98	<p>小窩裂溝充填材の種類で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 化学重合型充填材は裂溝充填時点で硬化が始まる。 b グラスアイオノマー系の充填材は酸処理の必要がない。 c 充填材は重合法の違いだけで分類される。 d 充填部位が確認しやすい不透明な充填材がある。</p> <p>▶ keyword : 小窩裂溝充填材の種類、特徴</p>	<p>解答 : b, d</p> <p>小窩裂溝充填材は Bis-GMA 系とグラスアイオノマー系の 2 種がおもに市販されており、グラスアイオノマー系は酸処理 (エッチング) を行わずに充填できる。</p> <p>a× 化学重合型は 2 つのペーストにわかれて供給されており、ペーストを混和しはじめた段階で重合が開始される。 b○ c× 充填材は重合法による分類 (化学重合型、光重合型)、含有フィラーによる分類 (フィラー含有型、無フィラー型、フッ化物徐放型)、色調による分類 (透明、淡色、不透明) がある。 d○</p> <p>文献 : 歯科予防処置 215-216 ポイントチェック⑤ 32 歯科衛生士の臨床 原著第 9 版 (医歯薬出版) 587-588</p>	

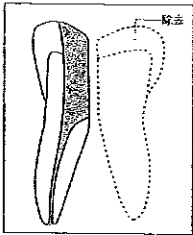
問題 A		解答・解説	
99	<p>小窩裂溝充填法の適応症で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 隣接面に齧蝕がある歯 b 深い溝をもつ臼歯 c 萌出より 4 年以内の歯 d メンテナンスができない患者</p> <p>▶ keyword : 小窩裂溝充填法</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>小窩裂溝充填法は深い複雑な溝をもつ臼歯に Bis-GMA 系やグラスアイオノマー系充填材などを充填し、齧蝕を予防する方法である。</p> <p>a× 小窩裂溝充填法は齧蝕がない健全歯を対象とする。 b○ 深い、複雑な溝をもつ臼歯を対象とする。 c○ d× 充填材の破折や摩耗をチェックするためメンテナンスは必要である。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 215-218 ポイントチェック⑤ 32</p>	
100	<p>フッ化物洗口法について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 1 日 1 回法のフッ化物イオン濃度は 900 ppm である。 b 0.05% フッ化ナトリウム溶液は 500 ml 容器中に 10 mg のフッ化物が含まれている。 c 1 回の使用量は 5~10 ml 程度が望ましい。 d 家庭では薬液は冷蔵庫に保管する。</p> <p>▶ keyword : フッ化物洗口法</p>	<p>解答 : c, d</p> <p>a× 1 日 1 回法では、0.05% フッ化ナトリウム溶液を使用する。よってフッ化物イオン濃度は 225 ppm である。 b× 0.05% フッ化ナトリウム溶液は、500 ml 容器中に約 110 mg のフッ化物が含まれている。 c○ 1 回の使用量は 5~10 ml で、30 秒~60 秒間ブクブクうがいをする。 d○ 薬剤、薬液の管理には十分注意し、冷暗所に保管する。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 263-265 ポイントチェック⑤ 33</p>	

問題 B		解答・解説
歯科臨床概論		
101	正しい組合せはどれか。2つ選べ。 a 主訴——患者の訴える痛みや不快事項 b 既往歴——祖父母、父母、兄弟の健康状態に関する事項 c 現病歴——過去における疾患およびそれに対する治療状況に関する事項 d 現症——現在の口腔内疾患の診査所見	解答: a、d 問診で聴取する事項には、主訴、家族歴、既往歴、現症などがある。家族歴は患者の家系についての問診で、遺伝性疾患などを知る手がかりとなる。 a○ 主訴は患者の来院の動機となったもので、現在もつとも苦痛とすることや不快事項を簡単に表現したもの。 b× 既往歴は過去における全身疾患や局所合併症について、経過や治療方法について問診する。 c× 現病歴は主訴について、発現から現在までを問診する。 d○ 現症は病歴聴取時点における症状の問診事項。 文献: 歯科臨床概論 14-15
▶keyword: 主訴、既往歴、現病歴、現症		
102	患者の知人から患者の病名について尋ねられたが歯科衛生士は答えなかった。根拠となる法律はどれか。 a 民法 b 民事訴訟法 c 歯科衛生士法 d 医療法	解答: c 歯科衛生士法(第13条の5)に、歯科衛生士の秘密保持義務が定められている。 a× b× c○ d× 文献: 歯科臨床概論 102
▶keyword: 秘密保持義務		
103	高圧蒸気滅菌を行わないのはどれか。 a ビンセット b キュレット c メスホルダー d ガッタバーチャポイント	解答: d ビンセット、キュレット、メスホルダーはいずれも金属性で熱に耐えるため、高圧蒸気滅菌法を用いることができる。一方、ガッタバーチャポイント、プラスチック製品、ゴム製品など熱に弱いものは高圧蒸気滅菌を行ってはならない。 a○ b○ c○ d× 文献: 歯科診療補助 129-134
▶keyword: 高圧蒸気滅菌法		
104	歯髄の生死の判定に使用されるのはどれか。2つ選べ。 a 加温ストップピング b 電気歯髄診断器 c カリエスマーター d 超音波スケララー	解答: b、c 歯髄の生死の判定には、歯の電気診が行われ、電気歯髄診断器、カリエスマーターなどが用いられる。 a× b○ c○ エナメル質と象牙質の電気抵抗値の違いから齲蝕の進行状況を知ることができる。 d× 文献: 歯科器械の知識と取り扱い 65
▶keyword: 電気診		

問題 B		解答・解説
105	出血性素因の原因別分類で誤っているのはどれか。 a 白血球数の異常 b 血小板の異常 c 血液凝固因子の異常 d 血管壁の異常	解答: a 出血性素因を原因別に分類すると血管壁の異常、血小板の異常、凝固因子の異常、線維素溶解能の亢進にわけられる。線維素溶解能の亢進にはフィブリン体分解産物(FDP)などの検査がある。 a× 白血球数の異常は炎症などに関係する。 b○ 血小板の異常には数と機能の異常があり、出血時間などの検査がある。 c○ 凝固因子の異常には部分トロンボプラスチン時間(PTT)やプロトロンビン時間(PT)などの検査がある。 d○ 血管壁の異常には出血時間や毛細血管抵抗試験などの検査がある。 文献: 臨床検査法 81-84
▶keyword: 出血性素因の分類		
106	エックス線の発生に必要なのはどれか。 a 熱電子 b ターゲット c 空気 d フィラメント	解答: c エックス線の発生は、真空状態のエックス線管の陰極(フィラメント)を加熱して、熱電子を発生させ、高電圧をかけて熱電子を加速させる。熱電子は陽極のターゲットに衝突し、エックス線が発生する。 a○ 熱電子が陽極に衝突し、エックス線が発生する。 b○ 熱電子が衝突するためのターゲットが必要である。 c× エックス線管内は真空状態である。 d○ フィラメントを加熱して熱電子を発生させる。 文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 20
▶keyword: 熱電子、ターゲット、フィラメント		
107	隣接面齲蝕の診断にもっとも適する撮影法はどれか。 a 咬翼法 b 二等分法 c 咬合法 d パノラマエックス線撮影法	解答: a 隣接面の観察には水平的角度は正放射線投影、垂直的角度は0度(水平)に近いほうが好ましい。 a○ 隣接面および歯槽骨頂の観察を目的とした撮影法である。 b× 二等分法はエックス線の垂直的角度が大きいため、咬翼法より不向きである。 c× 咬合法は歯を歯軸方向からみるため不向きである。 d× 断層撮影であるため口内法エックス線撮影より不鮮明である。 文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 39-40
▶keyword: 咬翼法撮影		

問題 B		解答・解説	
保存修復学			
108	<p>上顎左側第二小臼歯におけるⅡ級複雑窩洞の近遠心的縦断面の図を示す。</p>  <p>高壁の名称で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①は近心壁である。 b ②は髓下壁である。 c ③は歯肉壁である。 d ④は軸壁である。</p> <p>▶ keyword : 窩壁の名称</p>	<p>▶ 解答 : c, d</p> <p>Ⅱ級複雑窩洞は、近心壁（もしくは遠心壁）、髓壁、頰側壁、舌側壁、軸壁、歯肉壁の6つの高壁から構成されている。通常、窩壁の名称は、対応する歯面の名称でよぶ。</p> <p>a × 上顎左側第二小臼歯という設定から考えると遠心壁であることがわかる。 b × 髓下壁は歯髄を除去し髓床底に形成された窩底をいう。歯頂側から歯髄に近づく歯軸に直交する壁は髓壁である。 c ○ d ○</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 33</p>	
109	<p>コンポジットレジン組成で正しいのはどれか。</p> <p>a 化学重合型—Bis-GMA、カンファークイノン、ジメチルアミノエチルメタクリレート b 化学重合型—MMA、第3アミン、過酸化ベンゾイル c 可視光線重合型—Bis-GMA、カンファークイノン、ジメチルアミノエチルメタクリレート d 可視光線重合型—MMA、第3アミン、過酸化ベンゾイル</p> <p>▶ keyword : コンポジットレジン組成</p>	<p>▶ 解答 : c</p> <p>コンポジットレジンとは、重合方式の違いによって、化学重合型と光重合型にわかれる。光重合型は、可視光線重合型と紫外線重合型にわかれるが、普通は可視光線重合型を意味する。コンポジットレジン組成の基本的組成は、マトリックスレジン、フィラー、重合開始剤、重合促進剤などである。マトリックスレジンの多くは Bis-GMA で網目状の高分子となつて硬化する。</p> <p>a × 可視光線重合型の組成である。 b × 化学重合型のベースレジンも Bis-GMA が主体である。通例、ユニバーサルペーストに重合促進剤として第3アミンを、キャタリストペーストに重合開始剤として過酸化ベンゾイルが配合されている。 c ○ 可視光線重合型は、可視光線でカンファークイノンを活性化し、ジメチルアミノエチルメタクリレートと作用させて発生したラジカルによって重合させる。 d ×</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 74-75 ポイントチェック③ 62</p>	
110	<p>44歳の男性。左側臼歯部の違和感を主訴として来院した。口腔内写真（別冊 No. 1）を別に示す。</p> <p>本症例で認められるのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯冠破折 b くさび状欠損 c エナメル質減形成 d 象牙質齶蝕</p> <p>▶ keyword : 摩耗症、くさび状欠損</p>	<p>▶ 解答 : b, d</p> <p>小臼歯から大臼歯にかけて広範囲の摩耗が認められ、くさび状欠損の形態を呈している。摩耗により露出した象牙質面に茶色く変色した齶蝕が発現している。</p> <p>a × 咬耗は認められるが歯冠破折は認められない。 b ○ c × エナメル質減形成は、エナメル形成期の障害により歯冠の一部または全面に白濁、着色、欠損などを生じたものである。 d ○</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 25-27 ポイントチェック③ 46-48</p>	

問題 B		解答・解説	
111	<p>メタルインレー修復における診査中の写真（別冊 No. 2）を別に示す。</p> <p>診査の対象となるのはどれか。</p> <p>a 患歯の動揺度 b 歯間部ポケットの深さ c 隣接歯との接触状態 d 歯肉側室辺縁の適合度</p> <p>▶ keyword : コンタクトゲージ、隣接歯との接触</p>	<p>▶ 解答 : c</p> <p>写真で用いているのはコンタクトゲージであり、隣接歯との接触状態の診査に用いる器具である。写真のような MOD 窩洞など 2 級窩洞の修復においては、隣接歯との適正な接触状態の回復は食片圧入の防止などのために重要であり、メタルインレーの試適時には診査を行うことが必要である。</p> <p>a × 患歯の動揺度はピンセットで把持して診査することが多い。 b × 歯間部ポケットの深さは各種プローブを用いて診査する。 c ○ 隣接歯との接触状態には厚みの異なるコンタクトゲージを用いて診査を行う。通常は 50 μm の厚さのゲージがやきつめに挿入できることが望ましいとされる。 d × 歯肉側室辺縁の適合度は探針などを用いて診査する。</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 130 歯科器械の知識と取り扱い 67-68</p>	
112	<p>ラミネートベニア修復における術前診査中の写真（別冊 No. 3）を別に示す。</p> <p>この診査によって決定されるのはどれか。</p> <p>a 形成量 b シェルの形態 c シェルの色調 d 対合歯との接触</p> <p>▶ keyword : ラミネートベニア修復、術前診査、診査項目</p>	<p>▶ 解答 : c</p> <p>写真は形成前にシェードガイドを用いて患歯の色調を診査しているところである。このシェードテイキング時に十分な説明を行い、インフォームドコンセントを得ることが重要である。また実施時にはライティングに注意する。</p> <p>a × 形成量の診査にはシェードガイドは用いず、研究用模型をあらかじめ作製しておいて実施する。 b × シェルの形態はシェードガイドではなく、モールドガイドを用いる。 c ○ シェルの色調には一般的に VITA のシェードガイドが採用されている。 d × 対合歯との接触の診査にはシェードガイドは用いず、研究用模型をあらかじめ作製しておいて実施する。</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 104-105</p>	
歯内療法学			
113	<p>EDTA 溶液の不活性化に有効なのはどれか。</p> <p>a 次亜塩素酸ナトリウム溶液 b 過酸化水素水 c 精製水 d 水酸化カルシウム</p> <p>▶ keyword : 根管清掃、薬剤中和、歯質脱灰</p>	<p>▶ 解答 : a</p> <p>EDTA は象牙質の脱灰剤として狭窄根管の拡大時に使用されるが、長時間使用すると象牙質の溶解は進行し、穿孔をきたすこともある。したがって、本剤使用後は効果を不活性化することが必要であることを理解する。</p> <p>a ○ EDTA 溶液の不活性化には 3% 次亜塩素酸ナトリウム溶液が有効である。 b × 次亜塩素酸ナトリウム溶液の中和剤である。 c × EDTA と反応しないので不活性化には無効である。 d × 根管充填や根管消毒などに使用され、EDTA と併用することはない。</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 206</p>	
114	<p>急性歯髄炎の症状はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 冷たい水を飲むとしみる。 b 歯を磨くと歯肉から出血する。 c 温かいお茶を飲むと疼く。 d 歯肉が腫れてくる。</p> <p>▶ keyword : 急性歯髄炎、冷水痛、温熱痛</p>	<p>▶ 解答 : a, c</p> <p>急性歯髄炎の痛みは温度刺激により誘発されたり、自発痛を発現する。咬合時の痛みや歯の動揺は歯周炎の特徴的の症状である。</p> <p>a ○ 冷刺激による痛みは歯髄に起因する痛みである。 b × ブラッシング時の出血は歯肉炎の症状である。 c ○ 温熱刺激による痛みは進行した歯髄炎の症状である。 d × 歯肉の腫脹は歯周炎の症状である。</p> <p>▶ 文献 : 保存修復学・歯内療法学 148-149</p>	

問題ID	解答・解説
115 急性化膿性根尖性歯周炎の症状はどれか。2つ選べ。 a 冷水痛 b 甘味痛 c 体温の上昇 d 歯肉腫脹	解答: c, d 急性化膿性根尖性歯周炎は咬合痛、打診痛からはじまり、歯肉や顔面の腫脹を伴い、発熱、倦怠感など全身症状を惹起する重篤な症状にまで進展する。根尖歯周組織の炎症であるので温度や化学的刺激には反応しない。 a × 冷水痛は歯髓組織に起因する症状である。 b × 甘味、酸味に対する痛みは初期の歯髓疾患の症状である。 c ○ 体温上昇は本疾患の骨内期に現れる症状である。 d ○ 歯肉腫脹は本疾患の骨内期、骨膜下期、粘膜下期の症状である。 keyword: 歯肉腫脹、発熱、骨内期 文献: 保存修復学・歯内療法学 153-154
116 ある外科的歯内療法を図に示す。  正しいのはどれか。 a 根尖切除術 b 歯根分離術 c 歯根切除術 d ヘミセクション	解答: d 外科的歯内療法は通常の根管治療で治りにくい場合に行う。 a × 根尖切除は根尖部の病巣を搔爬し、根尖の一部を切断する。 b × 歯根分離は根分岐部病変が大きい場合や髄床底に穿孔した場合に用いられる。 c × 歯根切除は歯冠部はそのままにして、1本の歯根のみを切断する。 d ○ ヘミセクションは歯冠を近遠心に二分し、患側を歯根とともに除去する。 keyword: 外科的歯内療法、根尖切除術、歯根分離術、歯根切除術、ヘミセクション 文献: 保存修復学・歯内療法学 225-228 ポイントチェック③ 96
117 根管充填に使用する器具はどれか。2つ選べ。 a クレンザー b ゲイツグリデンドリル c 根管スプレッダー d レンツロ	解答: c, d 各種根管充填法に必要な器具、薬剤を整理しておく。 a × クレンザーは抜髄針とよばれ、抜髄時に使用する。 b × ゲイツグリデンドリルは、抜髄時あるいは根管拡大形成時に根管口の漏斗状拡大に用いる。 c ○ 根管スプレッダーは、側方加圧根管充填時に用いる。 d ○ レンツロは根管充填時の根管シーラーの充填や糊剤充填時に使用する。 keyword: 根管充填、器具 文献: 保存修復学・歯内療法学 214-218

問題ID	解答・解説
歯周治療学	
118 O'Leary のブラークコントロールレコード (PCR) について正しいのはどれか。2つ選べ。 a ブラーク付着状況を評価する。 b 歯肉辺縁部歯面のブラーク付着量を判定する。 c 全歯の頬側、舌側の2歯面について判定する。 d 歯垢染色剤を用いる。	解答: a, d a ○ 各歯面におけるブラーク付着の範囲や量を評価する。 b × 辺縁部歯面だけでなく歯面全体の汚れをみる。 c × 各歯面の頬、舌、近、遠心隣接面の4歯面について判定する。 d ○ ブラーク付着面を歯垢染色剤を用いて判定する。 keyword: ブラークの汚れと測定法 文献: 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 119
119 歯周パックの目的で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 術後出血の防止 b 動揺歯の固定 c 外來刺激の伝達 d 歯槽骨形成の促進	解答: a, b a ○ 術後の止血に歯周パックを用いる。 b ○ 歯の動揺を抑制する。 c × 創面への異物による刺激を防止する。 d × 歯槽骨の形成促進に影響はない。 keyword: 歯周外科処置後の包填 文献: 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 88-89 歯周治療学 142
120 急性壊死性潰瘍性歯肉炎で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 潰瘍形成がみられる。 b 接触痛がない。 c ストレスが関与している。 d 外傷性咬合が関与している。	解答: a, c a ○ 歯肉のびらん・潰瘍形成がみられる。 b × 食塊が歯肉に当たると痛みがある。 c ○ d × ストレスや過労などが宿主側の抵抗力の減弱をきたす要因とブラークの関与が考えられる。 keyword: 特殊な歯肉炎の理解 文献: 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 25
121 歯周疾患に関連のある全身疾患として正しいのはどれか。2つ選べ。 a 糖尿病 b 肝硬変 c 高血圧症 d 感染性心内膜炎	解答: a, d 歯周疾患と関連のある全身疾患について理解することが重要である。 a ○ 歯周疾患の局所で産生されるサイトカインがインスリンの機能を阻害する。 b × 肝硬変は歯周疾患とは関連がない。 c × 高血圧症そのものは歯周疾患と関連はない。 d ○ 口腔内細菌が血管を介して心内膜に付着し、心内膜炎を誘発することがある。 keyword: 歯周医学 文献: 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 35-37

問題日		解答・解説	
122	<p>写真(別冊No.4)を別に示す。処置について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 縫合を伴う。 b 知覚過敏に留意する。 c 骨縁上ポケットに行く。 d 通常メンテナンス時に行く。</p> <p>▶ keyword: フラップ手術</p>	<p>解答: a, b</p> <p>写真はフラップ手術の術中である。</p> <p>a ○ b ○ 術後、知覚過敏に留意が必要である。 c × 骨縁下ポケットが適応である。 d × 通常、歯周基本治療終了後の再評価後に行く。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 93-95</p>	
歯科補綴学			
123	<p>補綴装置の写真(別冊 No.5)を別に示す。正しいのはどれか。</p> <p>a ジャケットクラウン b 陶材焼付製造冠 c 全部レジン歯冠継続歯 d プロキシマルハーフクラウン</p> <p>▶ keyword: 全部被覆冠、ジャケットクラウン</p>	<p>解答: a</p> <p>ポーセレン(陶材)やレジン単体でつくられるものをジャケットクラウンとよぶ。ポーセレンによる全部被覆冠型のクラウンはオールセラミッククラウンとよばれ、広範な齲蝕、変色、エナメル質形成不全などの審美的回復に有効である。レジンによる全部被覆型のクラウンがレジンジャケットクラウンである。ポーセレンジャケットクラウンに比べると製作が容易であるが、長期的にみた場合、咬耗が生じやすいこと、熱膨張による支台歯からの剥離がみられることなど解決課題が多い。</p> <p>a ○ ポーセレン(陶材)単体で製作されたクラウンで、ジャケットクラウンである。 b × ポーセレンを金属フレームに強固に焼きつけたもので、ポーセレンの有する審美性と金属の強度を併せもつクラウンである。 c × 根管部に挿入してクラウンの保持をはかる合釘(ポスト)、歯冠の継続部分、および根面板で構成される。 d × 白歯部の一側の隣接面を含めた半側を覆うタイプのクラウンで、下顎大白歯の生活歯に用いられる。</p> <p>文献: 歯科補綴学 43-47</p>	
124	<p>義歯の写真(別冊 No.6)を別に示す。矢印の部分はどれか。</p> <p>a スパー b 義歯床 c 維持装置 d 大連結装置</p> <p>▶ keyword: 維持装置、連結装置</p>	<p>解答: d</p> <p>いずれもパーシャルデンチャーの構成要素である。</p> <p>a × 前歯の舌面、白歯の辺縁隆線上に置かれる間接維持装置である。 b × 欠損部顎堤や口蓋部を覆い、人工歯が排列される部分である。 c × 機能時の義歯の動揺を防ぎ、義歯を定位置に保持し、安定をはかる装置である。 d ○ 離れた位置にある義歯床と義歯床、義歯床と支台装置などを連結する金属部分である。</p> <p>文献: 歯科補綴学 85-91</p>	
125	<p>仮想咬合平面に平行なのはどれか。</p> <p>a 瞳孔線 b 正中線 c フランクフルト平面 d Spee の湾曲</p> <p>▶ keyword: 仮想咬合平面</p>	<p>解答: a</p> <p>a ○ 顔を正面から観察した場合、瞳孔線とカンベル平面が平行になる。 b × 上下顎咬合床唇側面に正面からみた顔の正中を示す。 c × 左右の限点と左右の耳点を含む平面である。 d × 下顎歯列を側方から観察し、下顎の小白歯および大白歯の頬側咬頭頂を連ねた湾曲のこと。</p> <p>文献: 歯科補綴学 19-21、119 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 95-96</p>	

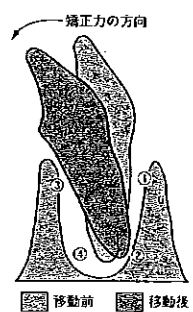
問題日		解答・解説	
126	<p>加齢変化に伴い増加傾向を示すのはどれか。</p> <p>a 唾液分泌量 b 咬合力 c セメント質の厚さ d 歯髄腔の容積(広さ)</p> <p>▶ keyword: 歯の喪失に伴う変化</p>	<p>解答: c</p> <p>唾液分泌量、咬合力、歯髄腔の容積は減少傾向になる。</p> <p>a × b × c ○ セメント質は加齢とともに歯根膜側に添加し厚くなる。 d ×</p> <p>文献: 歯科補綴学 37-38 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 21</p>	
127	<p>粘膜接触面積がもっとも大きいボンティック基底面の形態はどれか。</p> <p>a 偏側型 b リッジラップ型 c 船底型 d 鞍状型</p> <p>▶ keyword: ブリッジ、ボンティック</p>	<p>解答: d</p> <p>ボンティックの種類および特徴、構造、機能について理解しておく。</p> <p>a × 基底面が顎堤の唇側部で線状に接触し、接触面積は小さい。 b × 基底面が顎堤にT字型に接触し、舌側では離れている。 c × 基底面が歯槽頂部で粘膜と点状あるいは線状に接触している。 d ○ 基底面が顎堤に鞍状に接触している。</p> <p>文献: 歯科補綴学 67-69 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 49-51</p>	
128	<p>ブリッジの構成に含まれないのはどれか。</p> <p>a 支台歯 b 連結部 c 支台装置 d ボンティック</p> <p>▶ keyword: ブリッジの構成</p>	<p>解答: a</p> <p>ブリッジは支台装置とボンティックおよびそれをつなげる連結部から成り立つ橋義歯である。</p> <p>a × 支台歯はブリッジの構成要素に含まれない。 b ○ 連結部はボンティックと支台装置をつなげるため、ブリッジの構成要素に含まれる。 c ○ 支台装置はブリッジの構成要素に含まれる。 d ○ ボンティックはブリッジの構成要素に含まれる。</p> <p>文献: 歯科補綴学 66 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 49-51 ポイントチェック③ 15</p>	
129	<p>全部被覆冠はどれか。</p> <p>a ピンレッジ b 4/5冠 c ラミネートベニア d ジャケットクラウン</p> <p>▶ keyword: クラウンの種類</p>	<p>解答: d</p> <p>全部被覆タイプのクラウンの種類を理解する。ピンレッジ、3/4冠、4/5冠、7/8冠などは部分被覆冠で、ラミネートベニアは前歯部の唇側面のみを被覆する。</p> <p>a × 部分被覆冠である。 b × 部分被覆冠である。 c × 唇側面のみを被覆する。 d ○ 全部被覆冠である。ポーセレンや硬質レジンで作製される。</p> <p>文献: 歯科補綴学 6-7 ポイントチェック② 10-14</p>	

問題 B		解答・解説
口腔外科学		
130	<p>ドライソケットで正しいのはどれか。</p> <p>a ゾンデで骨を触知する。 b 周囲粘膜に強い炎症を認める。 c 歯槽硬線が不明瞭である。 d 接触時痛は軽度である。</p> <p>▷keyword: ドライソケット、創傷治癒不全、抜歯後偶発症</p>	<p>解答: a</p> <p>ドライソケットとは、抜歯窩における創傷治癒不全（血餅の脱落や形成不全、軽度の感染等）の1つで、頻度の高い抜歯後の偶発症である。基本的には、抜歯窩骨面の露出により生じた骨炎の状態を示す。通常、抜歯後数日で発症し、10日～2週間ほどで自然治癒することが多い。疼痛が継続する場合は抜歯窩の再掻爬を行う。</p> <p>a○ 抜歯窩にゾンデを挿入すると粗糙感のある骨面を触知する。 b× 周囲粘膜の炎症所見はほとんどみられず、抜歯窩に限局した疼痛を主症状とする。 c× エックス線所見では、不透過性の高い歯槽硬線がみられることが多い。 d× 強い自発痛、接触時痛、冷水痛を呈する。</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 118</p>
131	<p>口腔粘膜の角化の亢進を伴う疾患はどれか。2つ選べ。</p> <p>a カンジダ症 b 扁平苔癬 c 白板症 d 再発性アフタ</p> <p>▷keyword: 白板症、扁平苔癬、カンジダ症、再発性アフタ</p>	<p>解答: b, c</p> <p>口腔粘膜の角化性病変は、白斑を形成し長い経過をたどるが、非角化性病変による白斑は、偽膜を形成し比較的短い経過である。偽膜はガーゼ等で拭いさるることができるが、角化性病変は拭いさることはできない。</p> <p>a× カンジダ症はカンジダ・アルビカンスの感染による真菌症である。乳白色の斑状の偽膜を形成し、ガーゼやミラーの縁で容易に除去できる。 b○ 扁平苔癬は皮膚や口腔粘膜に発現する炎症性角化症で、細いレース状、網状の角化部と、それに囲まれた紅斑あるいはびらんからなる。 c○ 白板症は周囲の健常粘膜よりもわずかに盛り上がった境界不明瞭な白色病変としてみられることが多く、上皮にはさまざまな程度の角化の亢進がみられる。扁平上皮癌の白板型との鑑別が必要である。 d× 再発性アフタは類円形の小潰瘍で上皮の角化はみられない。</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 40-49</p>
132	<p>写真（別冊 No. 7）を別に示す。この器具の使用目的はどれか。</p> <p>a 骨膜の剥離 b 残根の抜歯 c 小白歯の抜歯 d 骨鋭縁の除去</p> <p>▷keyword: 破骨鉗子、歯槽骨整形、小手術</p>	<p>解答: d</p> <p>写真は破骨鉗子で骨の鋭縁を除去する器具である。この鉗子の特徴は、先端に刃がついているため骨の削除が容易で、把柄部の間にバネがあることにより、常に鉗子の先端を開いた状態に保つことができる。この2点が抜歯鉗子との大きな違いである。</p> <p>a× b× c× d○</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 132-134</p>
133	<p>下顎智歯周囲炎の症状はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 開口障害 b 知覚麻痺 c 関節雑音 d 歯肉腫脹</p> <p>▷keyword: 下顎智歯周囲炎</p>	<p>解答: a, d</p> <p>下顎智歯周囲炎は智歯の萌出のスペースが不足し、萌出方向や位置に異常が生じるため歯冠周囲に感染を起こし、智歯周囲歯肉の腫脹や発赤等が発現する。炎症が咬筋、内側翼突筋、顎下腺等に波及すると開口障害や嚥下障害が発現する。</p> <p>a○ b× 智歯周囲炎による知覚麻痺は起こらない。 c× 智歯周囲炎が原因となり関節雑音の症状が発現することはない。 d○</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 55</p>

問題 B		解答・解説
小児歯科学		
134	<p>悪性腫瘍の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 易転移性 b 境界不明瞭 c 浸潤性発育 d 発育速度緩慢</p> <p>▷keyword: 口腔領域に発生する悪性腫瘍</p>	<p>解答: a, c</p> <p>口腔領域に発生する悪性腫瘍の特徴に関する問題である。悪性腫瘍は良性腫瘍とは違い、境界不明瞭で発育は比較的早く、ほとんどが周囲組織に浸潤性の発育をし、リンパ節や多臓器への転移や再発も起こしやすいことが特徴である。それに対して良性腫瘍は膨脹性に発育し、増殖速度は緩慢で、転移を起こすことはほとんどない。</p> <p>a○ b× c○ d×</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 69-72</p>
135	<p>65歳の男性。左側顔面部の違和感を主訴に来院した。2～3日前より違和感があり、昨日より突然、左口角が下がりと左眼の閉眼不能となり改善傾向を認めないという。初診時の顔貌写真（別冊 No. 8）を別に示す。</p> <p>考えられる疾患はどれか。</p> <p>a 口腔心身症 b 三叉神経痛 c 三叉神経麻痺 d 顔面神経麻痺</p> <p>▷keyword: 顔面神経麻痺</p>	<p>解答: d</p> <p>設問と顔貌写真より、左側に閉眼不能、鼻唇溝消失、眼瞼または口角下垂が認められる。これらの症状より顔面神経麻痺（末梢性）と考えられる。</p> <p>a× 口腔心身症は心理的・社会的原因で機能的障害が起こる疾患である。 b× 三叉神経痛は麻痺を伴わず、三叉神経領域に電撃様疼痛を認め、発痛帯を認める疾患である。 c× 三叉神経麻痺は三叉神経領域の知覚異常、咀嚼筋麻痺を伴う。主として、外傷、腫瘍の浸潤などにより発現する。 d○</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 84-85</p>
136	<p>伝達麻酔の特徴はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯科ではもっとも頻繁に用いられている。 b 広範囲の麻酔が可能である。 c 短時間の効果しか期待できない。 d 技術的熟練を要する。</p> <p>▷keyword: 局所麻酔</p>	<p>解答: b, d</p> <p>a× 浸潤麻酔がもっとも頻繁に用いられている。 b○ c× 浸潤麻酔より長時間の効果も期待できる。 d○ 伝達麻酔は浸潤麻酔よりも技術的な慣れが必要である。</p> <p>文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 166</p>
137	<p>Scammon の臓器発育曲線で正しいのはどれか。</p> <p>a 一般系型はシグモイド状曲線の成長発育を示す。 b 生殖系系型は17歳以降に著しい成長発育を示す。 c 神経系系型は5歳時に成人の約50%の成長発育を示す。 d リンパ系系型は8～10歳の間にもっとも旺盛な成長発育を示す。</p> <p>▷keyword: Scammon の臓器発育曲線</p>	<p>解答: a</p> <p>Scammon の臓器発育曲線は各臓器組織を4型にわけ、各組織が20歳で100%なるとした場合、出生時からの経時的推移を明示したものである。</p> <p>a○ 一般系型ではシグモイド状（S字状曲線）の成長発育を示す。 b× 生殖系系型は12歳以降の思春期に著しい成長発育を示す。 c× 神経系系型は5歳時には成人の約80%の成長発育を示す。 d× リンパ系系型は10～12歳の間にもっとも旺盛な成長発育を示す。</p> <p>文献: 小児歯科学 15-16</p>

問題 B		解答・解説	
138	乳白歯の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 上顎第二乳白歯は4咬頭3根である。 b 下顎第二乳白歯は4咬頭2根である。 c 上顎第一乳白歯は4咬頭2根である。 d 下顎第一乳白歯は4咬頭2根である。	解答: a, d 乳白歯の形態はその後継歯に類似していない。特徴は基本項目であるのでまとめて覚えておく。 a ○ b × 下顎第二乳白歯は5咬頭2根である。 c × 上顎第一乳白歯は2~3咬頭3根である。 d ○ 下顎第一乳白歯は4~5咬頭2根である。	文献: 小児歯科学 53-57
▷ keyword: 乳歯の形態的特徴			
139	乳歯齲蝕の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 自覚症状が明確である。 b 第二象牙質の形成量が多い。 c 輪状齲蝕は新産線に一致する。 d 発症は発育環境に左右される。	解答: b, d 乳歯齲蝕の特徴についてしっかりと覚えておくことが重要である。 a × 永久歯に比べ自覚症状が不明確であり、低年齢児では症状を明確に伝えることもできない。 b ○ 乳歯齲蝕では第二象牙質の形成が早く、量も多い。 c × 新産線は出生前後の環境変化による石灰化不良層であるが齲蝕の原因とはならない。 d ○	文献: 小児歯科学 59
▷ keyword: 乳歯齲蝕の特徴			
140	ウイルス感染によって起こるのはどれか。2つ選べ。 a 麻疹 b ベドナーアフタ c 口腔カンジダ症 d ヘルペス性歯肉口内炎	解答: a, d 口腔軟組織に症状を示す疾患は多数あるので、原因、症状をまとめて覚えておく。 a ○ 麻疹ウイルス感染で生じる。前駆症状として頬粘膜に白色、灰白色の小斑点であるコプリック斑がみられる。 b × ベドナーアフタは乳児口蓋部にみられるゴム乳首など機械的刺激で生じるアフタである。 c × 真菌であるカンジダ・アルビカンスによる感染症で、頬粘膜、舌表面などに乳白色の偽膜が付着する。 d ○ ヘルペス性歯肉口内炎は単純ヘルペスウイルスの感染で生じる。	文献: 小児歯科学 66-68
▷ keyword: 麻疹、ベドナーアフタ、口腔カンジダ症、ヘルペス性歯肉口内炎			

問題 B		解答・解説	
141	3歳の男児。歯科健診で精査を勧められ来院した。自覚症状は特にない。口腔内写真(別冊 No. 9)を別に示す。なお、1歳6か月時に上顎切歯部に齲蝕進行抑制処置を受けた経験があるが、その後齲蝕の新生はない。 適切なのはどれか。 a 齲蝕罹患型はC ₁ 型である。 b 齲蝕進行抑制処置を当該歯脱落まで継続して行う。 c 歯冠修復処置を実施する。 d プリーチングを実施する。	解答: c 小児期の齲蝕とその対応について診査、処置ともに理解する。 a × 齲蝕罹患型はA型である。 b × 齲蝕進行抑制処置は他の部位に永久歯が萌出したら中止しなければならない。 c ○ 実質欠損もあり、前歯部であることから審美的歯冠修復処置を実施する。 d × 乳歯ではプリーチングは行わない。	文献: 小児歯科学 60, 99, 140-142
▷ keyword: 齲蝕進行抑制、齲蝕罹患型、審美的性の回復、プリーチング			
142	行動変容技法で正しいのはどれか。2つ選べ。 a tell show do (TSD) 法 b モデリング法 c 前投薬下の対応法 d 吸入鎮静法	解答: a, b 行動変容技法とは不適応行動の学習を取り消したり、新しく学習しなおしたりするという考え方に基いたものである。 a ○ 歯科治療においては、これから何をするのかを話し、これから使う機械・器具をよくみせ、納得させながら治療するという方法である。 b ○ 他人の行動を観察することで、他人と同じような行動を習得する方法である。 c × 前投薬下での歯科治療では行動が変容を起こすことは困難である。 d × 低濃度(20~30%)の笑気と高濃度酸素(80~70%)の混合ガスを患児に吸入させることにより中枢神経を抑制し有意識下で治療する方法である。	文献: 小児歯科学 107, 114-118
▷ keyword: 行動変容技法、吸入鎮静法			
143	自閉症児の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。 a こだわりが強い。 b 時間的な見とおしをつけることが上手である。 c 人とコミュニケーションをとるのが上手である。 d 記憶力が高い傾向にある。	解答: a, d 自閉症児の特徴について理解する。 a ○ こだわりは強い。 b × c × 人とコミュニケーションをとるのが苦手である。 d ○ こだわりのある記憶力が強い。	文献: 小児歯科学 188 歯科衛生士のための障害者歯科(医歯薬出版) 51
▷ keyword: 自閉症児の特徴			

問題 B		解答・解説	
歯科矯正学			
144	<p>写真(別冊 No. 10)を別に示す。問144、問145に答えよ。</p> <p>装置について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 患者自身には装着させない。 b 1日12時間以上装着するのが望ましい。 c 大白歯の近心移動をはかる。 d 顎の成長をコントロールする。</p> <p>▶keyword: ヘッドギア</p>	<p>解答: b, d</p> <p>写真はヘッドギアである。 a× 患者自身で装着する可撤式装置である。 b○ 1日12時間以上装着する。長時間のほうが好ましい。14時間以上装着しても間違いない。 c× 大白歯の遠心移動に用いる。 d○ 上顎骨の前下方成長の抑制に用いる。</p> <p>文献: 歯科矯正学 100 ポイントチェック④ 146-147</p>	
145	<p>各部位の使用法で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①部はオトガイ部に固定する。 b ②部は前顎部に装着する。 c ③部にエラストックスを装着する。 d ④部は上顎大白歯のチューブに挿入する。</p> <p>▶keyword: ヘッドギア</p>	<p>解答: c, d</p> <p>ヘッドギアの各部位の名前、装着法を知ることは歯科医師が患者に装着の説明を行った後、患者に装着の練習をしてもらううえで必要である。 a× ①部は耳前部になり、③部との間でエラストックスを装着する。 b× ②部は頭頂部付近になる。 c○ d○</p> <p>文献: 歯科矯正学 100 ポイントチェック④ 146-147</p>	
146	<p>歯の移動の模式図を示す。</p>  <p>矯正力の負荷に伴い起こる事象について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯の移動形式はトルクである。 b ①部には線維芽細胞の増殖がみられる。 c 破骨細胞は④部より②部のほうに多くみられる。 d ③部の歯根膜は伸展される。</p> <p>▶keyword: 歯の移動</p>	<p>解答: b, c</p> <p>歯の移動について、図の移動形式は傾斜移動であり、歯冠は矯正力と同じ方向に移動するもの、歯根の先端部付近は矯正力とは逆の方向への移動をみせる。 a× トルクは歯冠を移動させずに歯根を移動させるような様式である。 b○ ①部の歯根膜は伸展され、線維芽細胞の増殖が起こるとされる。 c○ ②部が圧迫され、④部は牽引される。圧迫された骨表面に破骨細胞は多くみられる。 d× ③部の歯根膜は圧縮される。</p> <p>文献: 歯科矯正学 57-60 ポイントチェック④ 135-136</p>	

問題 B		解答・解説	
147	<p>矯正用器具の写真(別冊 No. 11)を別に示す。</p> <p>器具の使用用途はどれか。</p> <p>a バンドの切断 b ワイヤの切断 c 丸線の屈曲 d 角線の屈曲</p> <p>▶keyword: ツイードアーチベンディングブライヤー</p>	<p>解答: d</p> <p>写真の器具はツイードアーチベンディングブライヤーである。 a× b× c× d○ 角線の屈曲に適している。</p> <p>文献: 歯科矯正学 79 ポイントチェック④ 140</p>	
148	<p>口腔内写真(別冊 No. 12)を別に示す。</p> <p>Angleの不正咬合分類はどれか。</p> <p>a I級 b II級1類 c II級2類 d III級</p> <p>▶keyword: Angleの不正咬合分類</p>	<p>解答: d</p> <p>a× b× c× d○ 上顎第一臼歯に対し下顎第一大臼歯が半咬頭以上近心にある。下顎近心咬合。</p> <p>文献: 歯科矯正学 33-34 ポイントチェック④ 132</p>	
149	<p>矯正治療の目指す咬合はどれか。</p> <p>a 仮想正常咬合 b 典型正常咬合 c 個性正常咬合 d 機能正常咬合</p> <p>▶keyword: 正常咬合の種類</p>	<p>解答: c</p> <p>正常咬合の種類から矯正治療の目指す咬合を選ぶ。 a× 理想的な咬合であるが現実には存在しない。 b× 集団や民族にもっとも共通的特徴をもつ。 c○ 各個人によって咬合の素材の個体差を認めたとうえで、各個人にとっての最善の咬合状態であり矯正治療の目標となる。 d× 形態的に多少の欠陥があっても機能的に障害を認めない咬合状態。</p> <p>文献: 歯科矯正学 29-30 ポイントチェック④ 129</p>	
150	<p>F-H平面(フランクフルト平面)に必要な計測点はどれか。2つ選べ。</p> <p>a セラ(S) b ポリオン(Po) c ナジオン(N) d オルビターレ(Or)</p> <p>▶keyword: 頭部エックス線規格写真、フランクフルト平面</p>	<p>解答: b, d</p> <p>F-H平面(フランクフルト平面)は、側面頭部エックス線規格写真における計測に必要な主要水平基準平面の1つである。 a× トルコ鞍のつぼ状陰影像の中心点 b○ イヤーロッド像の最上点 c× 前頭鼻骨縫合の最前点 d○ 限窩骨縁の最下点</p> <p>文献: 歯科矯正学 70-72 ポイントチェック④ 138</p>	

問題日	解答・解説
歯科診療補助	
151 歯科診療現場で起こりうるインシデント事例にあたるのはどれか。2つ選べ。 a 患者の衣服に薬剤が付着した。 b 誤った薬剤を準備したが使用前に気がついた。 c 誘導時に患者が診療室で転倒した。 d 誘導された患者が治療開始前にカルテと違う患者であることがわかった。	解答 : b, d インシデントとはヒヤリ・ハットのことであり、患者に障害を及ぼすことはなかったが、診療の現場でヒヤリとしたりハットした事例を示す。アクシデント(医療事故)とは、事の大小や過失の有無を問わず、医療従事者が予測しなかった悪い結果が患者に発生した事例を示す。 a × 患者に発生したアクシデントである。 b ○ 誤った薬剤を準備したが治療前に気がついた事例のため、インシデントである。 c × 患者に発生したアクシデントである。 d ○ 違う患者を誘導したが治療開始前に気がついた事例のため、インシデントである。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 156-157
▶ keyword: インシデント、ヒヤリハット、アクシデント(医療事故)	
152 水平位診療について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 補助者は術者よりスツールを10~15cm高くする。 b 患者の体位は鼻と膝より足と腰が下がるようにすると安定する。 c ライト口腔の距離は40~50cmである。 d 下顎のライティング時はヘッドレストを水平位置より下げる。	解答 : a, b a ○ b ○ c × ライトと口腔の距離は患者水平位で60~80cm、患者座位で40~50cmが目安である。 d × 下顎のライティングを行うときはヘッドレストは水平位置より上げる。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 40-44 ポイントチェック⑤ 75
▶ keyword: ポジショニング、ライティング	
153 バキューム操作で正しいのはどれか。 a 軟組織はバキュームチップの先端に力を加えて引っ張る。 b 咽頭の水や唾液は舌根部で吸引する。 c 施術部位によって持ち手や握り方を変える。 d バキュームチップの切り口が歯列と垂直になるようにする。	解答 : c a × バキュームチップ全体に均等な力を加える。 b × 咽頭の水や唾液は臼後三角で吸引する。舌根部は挿入禁忌部位である。 c ○ d × バキュームチップの切り口は歯列と平行になるようにする。 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 47-51 ポイントチェック⑤ 77-78
▶ keyword: バキューム操作	

問題日	解答・解説
154 正しい組合せはどれか。2つ選べ。 a グルコン酸クロルヘキシジン——0.1~0.5%——手指・皮膚の消毒 b ポビドンヨード——0.25~0.5%——手指消毒 c グルタラル——0.1~0.5%——医療器具 d 塩化ベンザルコニウム——0.1~0.2%——手術野の皮膚消毒	解答 : a, d a ○ b × ポビドンヨードは0.25~0.5%では含嗽用として使用する。 c × グルタラルは2%で医療器具の消毒に使用する。 d ○ 文献 : 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 21 ポイントチェック⑤ 81
▶ keyword: 薬液消毒	
155 普通石膏について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 精密印象後の注入に使用 b 表面は緻密で滑沢 c スタディモデル製作に使用 d 水/粉の割合は40~50ml/100g	解答 : c, d 歯科用石膏の種類は、原石の焼き方により普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏の3種にわけられる。それぞれの特徴と用途を覚えておくこと。 a × 精密印象とは、作業用模型を得るための印象採得方法である。作業用模型作製に使用される石膏は、硬質石膏、超硬質石膏のように石膏表面が緻密で滑沢で、強度があるものが適している。 b × 普通石膏の表面は多孔質で粗い。緻密で滑沢な表面なのは、硬質石膏、超硬質石膏である。 c ○ 普通石膏の使用用途は、研究用模型(スタディモデル)、個人トレー作製のための予備模型である。 d ○ 普通石膏の混水比(水/粉の割合)は、0.40~0.50(40~50ml/100g)である。 文献 : 歯科診療補助 54-57 歯科材料の知識と取り扱い 164-167 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 96-105
▶ keyword: 石膏、種類、用途	
156 合着材・接着材とその特徴との組合せで正しいのはどれか。 a グラスアイオノマーセメント——酸に溶解する b カルボキシレートセメント——歯髄刺激が多い c 接着性レジンセメント——金属への接着性が高い d リン酸亜鉛セメント——水に溶解する	解答 : c 合着および接着材の種類と仮着材の種類は用途に合わせて使い分けられる。合着材には裏装の用途を含むものもある。 a × グラスアイオノマーセメントの特徴は歯質・金属に接着し、歯髄刺激が少なく、水に対する溶解が大きいの。 b × カルボキシレートセメントの特徴は、化学結合により、歯質・金属に接着し、歯髄刺激が少ない。 c ○ 接着性レジンセメントはPMMA系、コンポジットレジン系とあるが、どちらも接着に用いられる。唾液に対する溶解性が低く、歯質・金属などへの接着性が高い。 d × リン酸亜鉛セメントは酸に対して溶解する。 文献 : 歯科材料の知識と取り扱い 200 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 106
▶ keyword: 合着材、接着剤	

問題 B		解答・解説	
157	精密印象に使用される印象材はどれか。2つ選べ。 a アルジネート印象材 b シリコンゴム印象材 c 酸化亜鉛ユージノール印象材 d モデリングコンパウンド	解答 : b, c 精密印象とは、クラウン・ブリッジなどの修復物や補綴物を製作するとき採得する印象である。概形印象とは、研究用模型、診断用模型を得るための印象採得方法である。スナップ印象や予備印象がこれに該当する。 a × アルジネート印象材は概形印象に使用される。特徴としては、離液、膨潤、乾燥のための寸法安定性が悪く、永久ひずみが大きいため精密印象には不適である。 b ○ シリコンゴム印象材は精密印象に使用される。特に、シリコンゴム印象材の重付加型は、硬化がシャープで、寸法変化が小さいため精密印象に適している。 c ○ 酸化亜鉛ユージノール印象材は精密印象に使用される。特徴としては、印象精度がよく、寸法安定性に優れているので、精密印象に適している。 d × モデリングコンパウンドは概形印象に使用される。その他、無歯顎印象や咬合採得等にも使用される。特徴としては、弾性がほとんどないので、機能印象はとれるが、精密印象のような微細な印象採得は不可能である。	文献 : 歯科診療補助 81-93 歯科材料の知識と取り扱い 104-157 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 72
▷keyword : 精密印象			
158	光重合型コンポジットレジンの取り扱いについて正しいのはどれか。2つ選べ。 a レジン充填後は 20~40 秒間の光照射が必要である。 b 照射による硬化深度は色調に左右されない。 c レジンの重合硬化には赤外線を照射する。 d 窩洞の深さが 3mm 以上の場合には横層分割照射を行う。	解答 : a, d コンポジットレジンは、化学重合型と光重合型がある。化学重合型はユニバーサルペーストとキャタリストペーストを等量練和し、窩洞に充填することで重合開始剤の過酸化ベンゾイルと重合開始剤の第 3 アミンが反応し、重合硬化する。光重合型は 1 ペーストで、470~480 nm (ナノメートル) の波長の可視光線を照射することにより、重合開始剤のカンファークイノンが活性化され重合が進行する。 a ○ ライトガイドの照射口はできるだけ修復部位に直接触れない程度に近接させ、修復部位に垂直に光照射する。 b × レジンの色調が濃く、不透明なほど硬化深度が浅くなるので、十分な光照射が必要になる。 c × 470~480 nm (ナノメートル) の波長の可視光線を照射することにより、重合開始剤のカンファークイノンが活性化され重合が進行する。 d ○	文献 : 歯科材料の知識と取り扱い 38-61 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 123-129
▷keyword : コンポジットレジン			
159	ラバーダム防湿器材の写真 (別冊 No. 13) を別に示す。 正しい使用目的はどれか。2つ選べ。 a ① : ラバーシートの穿孔位置の決定 b ② : 歯へのラバーシートの固定 c ③ : ラバーシートの穿孔 d ④ : ラバーダムクランプの着脱	解答 : b, c a × クランプフォーセップスでラバーダムクランプの装着、離脱に使用する。 b ○ ラバーダムクランプで有翼型、無翼型があり、前歯用・小白歯用・大白歯用の種類がある。上下顎、左右にも分かれる。写真は有翼型、下顎大白歯用である。 c ○ ラバーダムパンチで歯種により孔の大きさを選択し穿孔する。 d × ラバーダムフレームでラバーシートを緊張させ固定する。	文献 : 歯科診療補助 233-234 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 53-55 ポイントチェック⑤ 84
▷keyword : ラバーダム防湿			

問題 B		解答・解説	
160	上顎右側中切歯のブラック V 級窩洞に化学重合型コンポジットレジン修復を行う際の準備器材で正しいのはどれか。2つ選べ。 a サービカルマトリックス b セパレーター c フィニッシングバー d ダイヤモンドポイント	解答 : a, d ブラック V 級窩洞は歯冠の唇面、頬面および舌面の歯頸部 1/3 の窩洞である。 a ○ 隔壁調整に用いる。 b × 隣接面の歯間分離に用いる。 c × アマルガム研磨に用いる。 d ○ 窩洞形成に用いる。	文献 : 歯科診療補助 68-69 保存修復学・歯内療法学 81-87 歯科器械の知識と取り扱い 61-62, 76-77, 80-84
▷keyword : 化学重合型コンポジットレジン、V級窩洞			
161	歯髄鎮静に使用される薬剤はどれか。2つ選べ。 a ユージノール b EDTA c フェノールスルホン酸 d グアヤコール	解答 : a, d 歯髄の興奮を抑制する一連の治療を歯髄鎮静 (鎮痛) 療法という。歯髄鎮静療法に使用する薬剤には、フェノールカンフル、フェノールチモール、クロロフェノールカンフル、チモール、グアヤコール、ユージノール、クレオソートなどがある。また、セメント状の歯髄鎮静剤には、酸化亜鉛ユージノールセメントや酸化亜鉛グアヤコールセメントなどがある。 a ○ b × 無機質溶剤である。 c × 無機質および有機質に対する溶解作用を有している。 d ○	文献 : 保存修復学・歯内療法学 168-171
▷keyword : 歯髄鎮静剤			
162	歯周外科治療に用いる器具を写真 (別冊 No. 14) に示す。 この器具の使用目的で正しいのはどれか。 a 組織の把持 b ポケット掻爬 c 歯肉切開時の位置明記 d 歯肉整形	解答 : c 写真の器具はクレーン-カプランポケットマーカである。用途はポケット底の位置を歯周の表面に押し、切開の目安となる位置を明記するために用いるものである。 a × 有鉤ピンセットで行う。 b × キュレットスケーラなどで行う。 c ○ d × 歯肉ばさみで行う。	文献 : 歯科器械の知識と取り扱い 98 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 84
▷keyword : ポケットマーカ			
163	検査法とその内容との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。 a チェックバイト法——支台歯軸壁面間の平行性 b 平行測定法——上下顎関係の記録 c ゴシックアーチ描記法——下顎位の水平的位置の検査 d 咬合音検査法——上下顎歯の咬合接触音	解答 : c, d a × チェックバイト法は上下顎関係の記録をする。 b × 平行測定法は支台歯軸壁面間の平行性を測定する。 c ○ d ○	文献 : 歯科補綴学 169-171 最新歯科衛生士教本 歯科補綴学 71-75 ポイントチェック⑤ 100-101
▷keyword : 検査法			

問題 B	解答・解説
164 部分床義歯装着の際、適合確認と調整に使用しないのはどれか。 a 咬合紙ホルダー b 適合検査材 c プライヤー d リベース剤	解答: d 義歯の適合を確認する場合、床の適合と咬合調整が行われる。そのときの準備物を確認しておく。 a○ 咬合紙ホルダーは咬合紙を保持するのに使用し、上下顎人口歯の咬合接触状態を点検するために使用される。 b○ 適合検査材は床内面の加圧状態を確認するために使用される。 c○ プライヤーはワイヤークラスプの調整に使用される。 d× リベース剤はリベース（改床法、復床法）に使用するものである。リベースとは、義歯床の不適合の回復・改善のため、義歯床部分を全部交換してしまう方法である。新義歯の場合には、現状の顎に合わせて製作しているので、義歯装着の際に使用することはない。
▷ keyword: 部分床義歯	文献: 歯科診療補助 191-193 歯科材料の知識と取り扱い 242
165 全部床義歯装着後の患者指導で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 装着後の不快事項を説明し定期診査を受けるよう指導する。 b 就寝時には義歯を外して乾燥状態で保管するよう指導する。 c 義歯に慣れるまで数日かかることを説明する。 d 義歯を清潔に保つため熱湯消毒をするように指導する。	解答: a, c 義歯装着後の患者指導は歯科衛生士の役割である。患者指導は、①一時的な口腔機能低下や唾液分泌量の増加、②義歯の着脱、取扱い法や清掃法、③装着直後の調整や定期診査の必要性などについての説明を行う必要がある。 a○ b× 義歯床用レジン乾燥すると変形するので、必ず水中で保管させる。 c○ d× 変形をするので、熱湯消毒は行わない。就寝前に義歯清掃剤を溶かした溶液中に浸漬し、翌朝流水下で洗浄し装着するのが望ましい。
▷ keyword: 患者指導、義歯	文献: 歯科補綴学 130-131 最新歯科衛生士教本 歯科補綴学 181-183 ポイントチェック⑤ 109
166 30歳の女性。印象採得時に嘔吐した既往がある。嘔吐反射の対策で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 頭部を十分に後傾させる。 b 鼻呼吸による深呼吸を指示する。 c 表面麻酔を応用する。 d 上顎より印象採得を行う。	解答: b, c 嘔吐反射の既往がある場合、次の事項に留意する。①患者の体位、②印象材の硬さ、量や硬化時間が短いもの、③鼻呼吸を心がけてもらう、④不安感を鎮める説明をする、⑤上下顎を印象採得する場合は、下顎より行い反射閾値を下げない、⑥口蓋部、舌根部に表面麻酔を行う。 a× 後傾はさせない。 b○ c○ d× 下顎より行う。
▷ keyword: 嘔吐反射、印象採得	文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 77 ポイントチェック⑤ 104-105

問題 B	解答・解説
167 伝達麻酔について誤っているのはどれか。 a 広範囲の麻酔が可能である。 b 注射針は26~30ゲージが多用されている。 c 血液吸引テストはブランジャーの先端が平坦なタイプの注射器で行う。 d 局所麻酔薬はカートリッジ型が大多数を占める。	解答: c 身体の一部部位を支配する末梢神経の機能を何らかの手段で一次的かつ可逆的に麻痺させ、その部位からの知覚の伝導を遮断する局所麻酔には、表面麻酔法、浸潤麻酔法、伝達麻酔法がある。それぞれに使用する薬剤、器材の特徴を理解し、臨床に対応させることが重要である。 a○ b○ c× 血管内へ針先が迷入していないことを確認するための血液吸引テストができるのは吸引式カートリッジ用注射器で、ブランジャーの先端が、ら旋状または、もり状のタイプである。 d○
▷ keyword: 伝達麻酔	文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 167-168 ポイントチェック④ 63
168 普通抜歯で使用しない器具はどれか。 a エレベーター b 鋭 匙 c マレット d カートリッジ式注射器	解答: c 抜歯には、普通抜歯、難抜歯、埋伏歯抜歯があるが、それぞれの適応症および特徴を理解し、それに応じた器具を術式を追って把握することは、口腔外科領域の介助を行ううえで重要である。 a○ エレベーターと抜歯鉗子のみで抜去できる場合を通常、普通抜歯とする。 b○ 病巣の搔爬を行う。 c× 通常、マイセルとともに骨削除のために使用し、埋伏歯抜歯において使用することが多い。 d○ 抜歯を行うにあたり局所麻酔は不可欠である。
▷ keyword: 普通抜歯	文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 124-131 歯科器械の知識と取り扱い 156
169 静脈内鎮静法に用いられる薬剤はどれか。2つ選べ。 a アドレナリン b フェリプレシン c ミタゾラム d ジアゼパム	解答: c, d 静脈内鎮静法とは、鎮静薬を静脈内に投与することにより鎮静状態を得る方法であり、精神鎮静法の一種である。吸入鎮静法に比べると効果が非常に確実で、歯科治療に不安や恐怖の強い患者に用いた場合にはよい効果がある。静脈内鎮静法にはベンゾジアゼピン系薬剤のジアゼパム、フルニトラゼパム、ミタゾラムなどを単独で用いるのが普通であるが、この薬剤にバルビツレートや鎮痛薬が併用されることもある。 a× 血管収縮薬である。末梢血管収縮作用、心収縮力増加作用などの呼吸、循環器系に対し多様な作用を有する。 b× 血管収縮薬である。末梢血管収縮作用はアドレナリンより劣る。 c○ 受容体への親和性はジアゼパムの2倍で、作用の発現は速いが、作用時間は短い。 d○ 鎮静作用と健忘効果が得られる。
▷ keyword: 静脈内鎮静法、使用する薬剤及び器材	文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 166-175 歯科診療補助 297 ポイントチェック④ 63-67

問題日	解答・解説
170 ダウン症患児の歯科的所見で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 歯の先天欠如 b 歯の早期萌出 c 咬 耗 d 溝状舌	解答 ：a、d ダウン症候群の歯科的所見として、上顎の発育が劣り、通常より顎の大きさは小さい。目と目の間隔は広く、目がつり上がり、鼻は低く、耳介も低位置を示す。歯列は狭窄し高口蓋で、舌が大きく溝状舌を示す。 a○ 特に永久歯の歯が小さく、円錐歯や先天欠如が多い。 b× 歯は萌出遅延を示す。 c× 脳性麻痺アトローゼ型（不随意型）の特徴として咬耗や両側性平衡咬合がみられる。 d○ 舌が大きく、表面に深い溝をもつことがある。 文献 ：小児歯科学 188 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 45
▷keyword：ダウン症候群	
171 多数歯欠損に使用する保隙装置はどれか。2つ選べ。 a クラウンループ b 可撤式保隙装置 c リンガルアーチ d クラウンディスタルシュー	解答 ：b、c 保隙装置とは、乳歯の早期喪失により生ずる障害、特にスペースロスを起こさせないようにスペースを確保する装置のことである。 a× 片顎の1歯、特に第一乳歯が早期喪失した場合に用い、第二乳歯を支台歯として乳歯冠あるいはバンドにループがろう着してある。 b○ 左右側の乳歯あるいは前歯の多数歯が欠損した場合に用いる。この装置の利点として、近遠心的な保隙ばかりではなく垂直的な保隙ができるうえに、咀嚼機能が回復できる。 c○ 混合歯列期において両側性の乳歯欠損の場合に用いられる。 d× 第一大乳歯が萌出する前に第二乳歯を抜去せざるをえない場合に後継永久歯である第二小臼歯の萌出余地を確保するために用いる。 文献 ：小児歯科学 171-173
▷keyword：保隙装置、咬合誘導	
172 マルチブラケットに結紮を行ううえで必要ない器材はどれか。 a エラスティックモジュール b リガチャーワイヤー c セパレーティングブライヤー d ユーティリティブライヤー	解答 ：c 矯正治療において、補助者として、歯科衛生士が結紮を行うことが多いため、さまざまな材料に応じて結紮が行えるよう器材を把握しておく。 a○ b○ c× バンドを合着する際、歯間分離をするために小さいプラスチックのゴムを輸送し、圧入するためのブライヤーである。 d○ 文献 ：歯科矯正学 81、91-92、162 歯科器械の知識と取り扱い 140-141、143
▷keyword：マルチブラケット	
173 矯正治療後のあと戻りの原因で誤っているのはどれか。 a 保定装置の未使用 b 口腔清掃の不備 c 歯根膜線維の弾性 d 口腔周囲筋の不均衡	解答 ：b 矯正治療において歯科衛生士の役割は非常に大きい。治療開始前の問診、診査から始まり、治療中においては装置装着により複雑化した口腔内のブラークコントロールを目的としたブラッシング指導及びさまざまな装置に対応した食事指導などを行い、患者の痛みや不安も耳にすることも多い。治療が終了し、保定装置へと移行するが、どの過程においても歯科衛生士として専門的立場から説明することは重要である。 a○ b× 口腔清掃の不備はあと戻りの原因とは関係ない。 c○ d○ 文献 ：歯科矯正学 104
▷keyword：あと戻り	

問題日	解答・解説
174 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 筋機能療法の実施 b 頭部エックス線規格写真のトレース c 顎機能検査の実施 d アーチワイヤーの屈曲	解答 ：a、b 歯科矯正における歯科衛生士の役割は、特殊な診療内容を十分理解したうえでの口腔管理、口腔習癖排除の指導、歯科矯正治療の補助などである。 a○ 筋機能療法は、指しゃぶりや舌突出癖などの排除を行い、口腔機能の改善を行うものである。口腔習癖の除去は、患者教育の一環として歯科衛生士の役割である。 b○ 矯正治療開始前の資料収集（検査）として、エックス線写真（パノラマ・頭部・顎関節）の撮影準備と補助を行う。さらに、頭部エックス線規格写真のトレース、分析を行い、診断の資料を作成することもある。 c× 顎関節症が疑われる症例では、下顎運動の機能的検査を ME 機器や咬合器を用いて行うが、歯科衛生士はこれらの検査の補助をする。 d× 歯科衛生士は、歯科医師が屈曲したアーチワイヤーの結紮および撤去を行う。 文献 ：歯科矯正学 133-144
▷keyword：矯正歯科治療時の歯科衛生士の役割	
175 二等分法におけるエックス線の照射で正しいのはどれか。 a フィルムと歯軸の中間に水平に照射する。 b 歯軸に対して垂直に照射する。 c フィルム面に対して垂直に照射する。 d フィルムと歯軸の中間に垂直に照射する。	解答 ：d 二等分法では、フィルムと歯軸がなす角度の二等分線に対して、エックス線を垂直に投影する。中心線（主線）は、撮影対象歯の歯頸部から根尖部付近とする。フィルム上の歯の長さが実際の歯と同様になる投影法で、歯の全体および根尖周囲の骨をフィルム上に正確に写しだす。 a× このような照射の二等分法はない。 b× 被写体が伸長して投影されるため不適切である。 c× 被写体が短縮して投影されるため不適切である。 d○ 文献 ：最新歯科衛生士教本 歯科放射線 33-35
▷keyword：二等分法	
176 口内法正常エックス線像について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 骨梁構造は上顎では平行で下顎では網目状に走る傾向にある。 b 上顎洞は第一大臼歯付近が一番低くなっている。 c 頬骨突起は上顎第一大臼歯付近にある。 d オトガイ孔は下顎前歯部に認められる。	解答 ：b、c 歯科医療現場でのエックス線写真から読みとれる情報は多く、観察する場合には、正常な解剖学的構造の位置と形態を理解しておく必要がある。 a× 骨梁構造は上顎では網目状で下顎では平行に走る傾向にある。 b○ c○ d× オトガイ孔は下顎小臼歯部に認められる。 文献 ：歯科放射線学 141
▷keyword：エックス線写真の正常像	

問題日		解答・解説	
177	放射線被曝について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 公衆被曝は線量に制限がない。 b 医療被曝は線量に制限がある。 c 職業被曝の線量限度は5年間の平均値である。 d 患者家族の介助による被曝は医療被曝である。	解答 ：c、d 放射線被曝は、医療被曝、職業被曝、公衆被曝の3つにわけられる。医療被曝は診断または治療の一部としての被曝で、職業被曝は作業時の被曝であり、公衆被曝は放射線に対する他のすべての被曝と定義されている。 a × 公衆被曝は1年に1mSvの線量限度を設けている。 b × 医療被曝については制限を行っていない。患者の被曝による損失よりも、その患者の受ける利益のほうが多いと判断している前提がある。 c ○ 線量限度は5年間の平均が1年あたり20mSvである。 d ○	文献 ：歯科放射線学 146-151 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 15
▷ keyword：放射線被曝			
178	貧血の検査に必要なものはどれか。 a 赤血球数 b ヘモグロビン量 c 白血球数 d ヘマトクリット値	解答 ：c 臨床で患者の診断および治療に役立たせるための臨床検査は、一般に脈拍、血圧、心電図、脳波などの身体的検査（生体検査、生理検査、画像検査）と尿、大便、血液あるいは病気の一部分から取り出した組織の検査（検体検査）とに大別されるが、歯科臨床においても血液検査は重要である。そのため、基本的な検査法については理解し、患者説明ができるようにする必要がある。 a ○ b ○ c × 通常の貧血の検査では、赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値を測定し貧血の有無を判定する。 d ○	文献 ：臨床検査法 74
▷ keyword：貧血の検査			
179	40歳の男性。歯科治療中に意識障害を起こした。最初に行うべき処置はどれか。 a 血圧測定 b 心臓マッサージ c 酸素投与 d 気道の確保	解答 ：d 意識レベルの低下が生じた場合、心肺蘇生の必要性があるかを迅速に判断し、心肺蘇生法を行う。一次救命処置は気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージを行い、心肺機能を回復させる。 a × 気道の確保、酸素吸入、骨動脈や頸動脈を触診し、動脈拍動が得られるときには血圧測定を行う。 b × 酸素吸入を行いながら骨動脈や頸動脈を触診し、頸動脈が触知されないときは心臓マッサージを行う。 c × 気道の確保、呼吸の管理後、酸素吸入を行う。 d ○	文献 ：口腔外科学・歯科麻酔学 183-188 ポイントチェック⑤ 126-127
▷ keyword：意識障害、救急処置			

問題日		解答・解説	
180	AEDの取り扱いについて正しいのはどれか。2つ選べ。 a 成人に対しては小児用のパッドを代用することができる。 b 患者の胸部が濡れている場合にはタオルで水分を拭き取ってからパッドを貼り付ける。 c ベースメーカーを使用している患者には使用できない。 d パッド装着部位付近に貼付薬剤が付着している場合は必ずがす必要がある。	解答 ：b、d AED（自動体外式除細動器）は、心電図を自動解析し、音声で操作手順を指示してくれる仕組みになっている。 a × 小児へのAED使用に際しては、通電量を減らすため、小児専用の電極パッドを用いることが望ましいが、大人用パッドで代用することもできる。この場合は代替装着位置を考慮する必要がある。逆に成人に対しては小児用パッドを使用してはいけない。成人の電気ショックに必要な通電エネルギーが得られず、除細動効率が低下する可能性がある。 b ○ 水は電気伝導するため、パッドは濡れている部分に接触しないようにする。AEDと一緒にあらかじめタオル、布などを装備しておくことが望ましい。 c × 埋め込み部位から、少なくとも2〜3cm離してパッドを貼付し、通常通りAEDを使用してよいとされている。 d ○ パッド装着部位付近に薬剤（ニトログリセリン、ニコチン、消炎鎮痛薬等）が貼付されている場合は、パッドの通電が阻害され、場合によっては熱傷の原因にもなるので必ずがすし、皮膚に残った薬剤を布などで拭き取ってからパッドを装着する必要がある。	文献 ：口腔外科学・歯科麻酔学 184 写真と動画で解る 一次救命処置（学習研究社）82
▷ keyword：AED			
歯科保健指導			
181	健康日本21について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 生活習慣病などの発症を予防する第一予防に重点をおいている。 b 9領域の目標の合計は105項目である。 c 2006年の中間評価で目標値を達成したのは幼児期の齲歯予防の目標である。 d 歯の健康の領域は13の目標がある。	解答 ：a、d 健康日本21では、生活習慣を改善して健康を増進し、壮年期死亡の減少および認知症や寝たきりにならない状態で生きる期間、いわゆる「健康寿命の延伸」などをはかっていくことを目標とし、9領域において目標を提示している。 a ○ b × 9領域の目標の合計は79項目である。 c × 2006年の中間評価で目標値を達成したのは「歯の喪失防止期」の3項目である。 d ○ 「歯の健康」の目標は全体の6番目にあり、13項目の目標値が設定されている。	文献 ：最新歯科衛生士教本 保健生態学 237-238
▷ keyword：健康日本21、歯の健康			
182	わが国における日本人の食生活の現状で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 朝食欠食率は高くなる傾向にある。 b 野菜の摂取量の平均値は「健康日本21」の目標値である350gを超えている。 c 食塩摂取量の平均値は男性よりも女性のほうが多い。 d エネルギー摂取量の平均値は減少傾向にある。	解答 ：a、d a ○ b × 平成19年の国民・健康栄養調査結果から野菜の摂取量の平均値は290gであり「健康日本21」の目標値である350gに達していない。 c × 平成19年の国民・健康栄養調査結果から食塩摂取量の平均値は男性で12.0g、女性で10.3gとなっており、男性のほうが女性よりも多く摂取している。 d ○	文献 ：栄養指導・生化学 81-85 平成19年国民健康・栄養調査
▷ keyword：国民・健康栄養調査、健康日本21			

問題 B	解答・解説
183 セルフケアはどれか。2つ選べ。 a スケーリング b ブラークコントロール c 洗口剤の使用 d PTC (PMTC)	解答: b, c 第一次予防は疾病の発生以前に諸要因について対策を講じ、発病を阻止することである。その手段には健康増進と特異的防御がある。また、予防にはセルフケア（個人が自らの生活の中で行う対応）、プロフェッショナルケア（専門家が行う対応）、コミュニティヘルスケア（市町村、学校など組織を通じて行う対応）がある。 a × スケーリングはプロフェッショナルケアである。 b ○ c ○ d × PTC (PMTC) はプロフェッショナルケアである。
▷ keyword: 第一次予防、セルフケア	文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 5-7, 185-189
184 誤嚥を誘発する因子はどれか。2つ選べ。 a 歯の喪失 b 咳嗽反射の亢進 c 唾液分泌量の増加 d 咀嚼筋の筋力低下	解答: a, d 誤嚥とは、飲食物が誤って気管に入りこんでしまうことである。誤嚥性肺炎や窒息の危険、脱水や低栄養といった合併症等、重大な問題をもたらす原因となる可能性がある。 a ○ 歯の喪失により咬合支持域および安定した顎位の喪失が引き起こされる。また嚥下時の舌運動への影響により誤嚥を生じやすくなる。 b × 咳嗽反射は、気管に入った異物を咳で排除しようとする反射であり、この反射が低下すると誤嚥が起こりやすい。 c × 唾液分泌量が減ると口腔粘膜の滑らかさがなくなり嚥下がスムーズにできなくなる。 d ○ 咀嚼筋の筋力低下により、咀嚼能力が低下し、食物を固形のまま無理に嚥下することになり、誤嚥を生じやすくなる。
▷ keyword: 誤嚥	文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 33-36 はじめて学ぶ歯科口腔介護 第2版（医歯薬出版）41-46
185 指導用顎模型を使用し集団指導をしている写真（別冊 No. 15）を別に示す。適切な提示法はどれか。2つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④	解答: c, d 指導用顎模型は集団におけるブラッシング指導時によく用いられる。対象者に理解しやすい提示を行う必要がある。 a × 把柄部の後方が遠心にあり、実際の口腔では使用できない。 b × 指導者の手首がじゃまになり、操作法がみえにくい。 c ○ 基本的な提示法。 d ○ 上顎を大きく開けて実施すると対象者も同じように上向きの姿勢をとってしまう。このように下顎を開けて対象者が鏡をみたときと同じような位置に顎模型を固定するとよい。
▷ keyword: 指導用顎模型、集団指導	文献: ポイントチェック⑤ 188-190
186 診査の内容と種類との組合せて正しいのはどれか。 a 歯石の沈着—問診 b 歯根の形態—視診 c 歯肉の腫脹—エックス線写真 d 歯列の状態—スタディモデル	解答: c 歯科保健指導や口腔保健管理を行うために、対象者の口腔内情報を正しく把握する必要がある。 a × 視診や触診が適している。隣接面の歯石沈着状態はエックス線でも確認できる。 b × エックス線写真が適している。 c × 視診や触診が適している。 d ○ 歯列や咬合状態、小帯の位置などがよみとれる。
▷ keyword: 口腔内情報、診査	文献: 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 114-121

問題 B	解答・解説
187 歯肉炎の広がり程度の示す指数はどれか。 a CPI b PCR c PHP d PMA	解答: d PMA Index は歯肉炎の広がり程度の数量化した指数である。P: papillary gingiva, M: marginal gingiva, A: attached gingiva を表しており、各歯を P, M, A の3部位にわけ、各々の部位の炎症について1点を与えるが、臨床では前歯部唇側歯肉のみを対象とすることが多く、その場合は最小値0点、最大値34点となる。 a × b × c × d ○
▷ keyword: PMA	文献: 歯科保健指導 118 ポイントチェック⑤ 163
188 写真（別冊 No. 16）を別に示す。器具とおもな用途との組合せて正しいのはどれか。2つ選べ。 a ①—歯間乳頭部のマッサージ b ②—口腔粘膜全体の清掃 c ③—隣接面のブラーク除去 d ④—ポンティック下部の清掃	解答: c, d a × スポンジブラシで、口腔粘膜の清掃、刺激、マッサージを行うのに用いられる。歯間乳頭部のマッサージには歯間ブラシやラバーチップなどが用いられる。 b × エンドタフトブラシで、最後臼歯の遠心面や傾斜のある部位のブラーク除去等に用いられる。口腔粘膜全体の清掃には、毛先の軟らかい歯ブラシやスポンジブラシ等が用いられる。 c ○ デンタルフロスで、隣接面および歯間部の清掃、隣接面齲蝕の診査等に用いられる。 d ○ 歯間ブラシで、歯間空隙のある隣接歯間部やブリッジのポンティック基底面、矯正装置の周辺部等の清掃に用いられる。
▷ keyword: 口腔清掃補助用具	文献: ポイントチェック⑤ 168-172
189 糖尿病患者への保健指導で正しいのはどれか。 a プロフェッショナルケアを中心に 行いセルフケアは控える。 b 歯肉を傷つける恐れがあるため洗 口剤での洗口のみで対応する。 c 歯ブラシは毛先がラウンド加工さ れた軟らかめの製品を選ぶ。 d 感染予防のためブラッシング時 にはフッ化物配合歯磨剤を用いる。	解答: c 糖尿病の状態が軽度の場合は、通常のブラッシング指導、スケーリング、メンテナンスを中心に行う。重度の場合は、齲蝕の多発や高度の歯周炎の発症の危険があるため、より頻回にプロフェッショナルケアを定期的に行う必要がある。 a × 血糖のコントロールとともに、セルフケアの必要性を理解し、実行してもらうような指導を行う。 b × 洗口のみではブラークコントロールはできない。歯ブラシやその他の補助的 清掃用具の正しい使用方法を指導する。 c ○ 歯肉を傷つけないよう注意する。 d × 歯肉から出血がみられる時は、歯ブラシにポビドンヨードなどをつけてブ ラッシングするとよい。
▷ keyword: 糖尿病、ブラークコントロール	文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 94-95

問題 B	解答・解説																																																									
<p>190 7歳の男児。小学校の定期歯科健康診断の結果を表に示す。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>歯</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td> </tr> <tr> <td>上</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>下</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>保護者に説明すべき内容はどれか。2つ選べ。</p> <p>a フッ化物応用の必要性 b 齲蝕の治療の必要性 c 歯周疾患の治療の必要性 d ブラークコントロールの必要性</p> <p>▶ keyword: 学校歯科健康診断、口腔保健管理</p>	歯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	上																			下																			<p>解答: a, d</p> <p>a ○ 要観察歯がみられることや、ブラークコントロールができていないことから、積極的なフッ化物の応用が必要である。</p> <p>b × 要観察歯はみられるが、未処置齲蝕はみられない。</p> <p>c × 歯肉の状態は1で、歯肉に軽度の炎症がみられる。歯科医師による治療ではなく、注意深いブラッシングと定期的な観察が必要である。</p> <p>d ○ 歯垢の状態は2で、相当の付着がみられる。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 258-268</p> <p>下記のように訂正して、お詫び申し上げます</p> <p>【平成21年度 第1回歯科衛生士模擬試験 解答・解説】 問190(p56) 解答: a, d → a, b, d ※正解が3つになります。a, b, dのうち2つを選択していれば正解として採点しております</p> <p>解説の解説 (誤) b × 要観察歯はみられるが、未処置齲蝕はみられない。 (正) b ○ 要観察歯、未処置齲蝕ともにみられる。</p>
歯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18																																								
上																																																										
下																																																										
<p>191 口腔内写真(別冊 No. 17)を別に示す。上顎左側中切歯のブラッシングに適した清掃用具はどれか。</p> <p>a エンドタフトブラシ b トゥースピック c 歯間ブラシ d 2列植毛歯ブラシ</p> <p>▶ keyword: 補助的清掃用具、エンドタフトブラシ、歯間ブラシ</p>	<p>解答: a</p> <p>写真の上顎左側中切歯は、萌出途中で歯冠高径が低く、また歯頸部の歯肉はブラークが停滞しやすい形態である。歯ブラシに加え、エンドタフトブラシなどを使用すると細かなところまでブラッシングできる。</p> <p>a ○ 萌出途中の歯や歯列不正部の歯頸部などをブラッシングするのに適している。</p> <p>b × ブラクトライアングルに挿入し、歯間隣接面を清掃する用具である。</p> <p>c × 広い歯間空隙のある隣接面やブリッジのポンティック基底面のブラッシングに適している。</p> <p>d × 歯頸部のブラッシングに適しているが、歯頸線が不揃いな場合には使いにくい。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 123-126 ポイントチェック⑤ 168-172</p>																																																									

問題 B	解答・解説																		
<p>192 事業所において歯周疾患予防に関連した個別の禁煙指導を歯科衛生士が行うことになった。「禁煙を実行する気はあるが今すぐには禁煙しようと思わない」というステージ(関心・企画期)にある対象者に行う指導で適切なのはどれか。</p> <p>a 禁煙への関心をもつ糸口をみつめるようにする。 b 喫煙の利益と不利益について考えてみるよう働きかける。 c 禁煙のための具体的な方法について例をあげて説明する。 d 喫煙行動の観察とニコチン依存度の自己評価を約束する。</p> <p>▶ keyword: 禁煙指導</p>	<p>解答: c</p> <p>a × 禁煙することに関心がない(無関心期)者への対応である。</p> <p>b × 禁煙に関心はあるが、当分実行する気はない(関心・無企画期)者への対応である。</p> <p>c ○ 禁煙の意志を高め、禁煙の実行に向けての具体的な準備を始められるよう導く。</p> <p>d × すぐにも禁煙を実行しようと思う(準備期)者への対応である。</p> <p style="text-align: center;">禁煙のステージと指導のねらい</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ステージ</th> <th>内容</th> <th>指導のねらい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無関心期</td> <td>禁煙することに関心がない</td> <td>喫煙の健康影響を示して自分の喫煙習慣について考えてみるよう働きかけ、禁煙への関心をもつ糸口をみつめるようにする。</td> </tr> <tr> <td>関心・無企画期(関心期I)</td> <td>禁煙に関心はあるが当分実行する気はない</td> <td>患者が喫煙の利益と不利益をはかりにかけのを手伝ったり、喫煙について患者の個性にあった情報を提供し、次に何をすべきかを考えてもらうことで禁煙をしようとするように導く。</td> </tr> <tr> <td>関心・企画期(関心期II)</td> <td>実行する気はあるが今すぐには禁煙しようと思わない</td> <td>禁煙の意志を高め、禁煙の実行に向けての具体的な準備を始められるように導く。禁煙のための具体的な方法について例をあげて説明し、禁煙開始日を設定することを考えてもらうようにする。</td> </tr> <tr> <td>準備期</td> <td>すぐにも禁煙を実行しようと思う</td> <td>禁煙開始日の設定について相談する。禁煙の約束を取り交わし、喫煙行動の観察とニコチン依存度の自己評価を約束する。禁煙すべき理由を明確にし、患者がスムーズに禁煙実行の準備ができるよう導く。</td> </tr> <tr> <td>実行期・維持期</td> <td>禁煙実行を開始する日が決まっている</td> <td>禁煙開始日がせまった2週間以内に実行期の禁煙指導を行う。まず、禁煙する理由を確認する。禁煙後の離脱症状、たばこを吸うきっかけについて話し合い、その対処法を導く。ニコチン依存度が高い患者にはニコチンガム・ニコチンパッチを処方する。 禁煙開始後の1週間以内に1回目の維持期の指導を行う。禁煙できたことをほめ、出現した離脱症状や喫煙再開のきっかけとその対処法について話しあう。 禁煙開始1カ月後に2回目の維持期の指導を行う。禁煙の効果はつきりしてくる時期であり、禁煙の自信度について尋ねる。禁煙がさらに継続できるように導く。禁煙開始3~6カ月後に3回目の維持期の指導を行う。禁煙の経過を尋ねて、問題点について話し合う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>文献: 新予防歯科学 [上] (医歯薬出版) 138-139</p>	ステージ	内容	指導のねらい	無関心期	禁煙することに関心がない	喫煙の健康影響を示して自分の喫煙習慣について考えてみるよう働きかけ、禁煙への関心をもつ糸口をみつめるようにする。	関心・無企画期(関心期I)	禁煙に関心はあるが当分実行する気はない	患者が喫煙の利益と不利益をはかりにかけのを手伝ったり、喫煙について患者の個性にあった情報を提供し、次に何をすべきかを考えてもらうことで禁煙をしようとするように導く。	関心・企画期(関心期II)	実行する気はあるが今すぐには禁煙しようと思わない	禁煙の意志を高め、禁煙の実行に向けての具体的な準備を始められるように導く。禁煙のための具体的な方法について例をあげて説明し、禁煙開始日を設定することを考えてもらうようにする。	準備期	すぐにも禁煙を実行しようと思う	禁煙開始日の設定について相談する。禁煙の約束を取り交わし、喫煙行動の観察とニコチン依存度の自己評価を約束する。禁煙すべき理由を明確にし、患者がスムーズに禁煙実行の準備ができるよう導く。	実行期・維持期	禁煙実行を開始する日が決まっている	禁煙開始日がせまった2週間以内に実行期の禁煙指導を行う。まず、禁煙する理由を確認する。禁煙後の離脱症状、たばこを吸うきっかけについて話し合い、その対処法を導く。ニコチン依存度が高い患者にはニコチンガム・ニコチンパッチを処方する。 禁煙開始後の1週間以内に1回目の維持期の指導を行う。禁煙できたことをほめ、出現した離脱症状や喫煙再開のきっかけとその対処法について話しあう。 禁煙開始1カ月後に2回目の維持期の指導を行う。禁煙の効果はつきりしてくる時期であり、禁煙の自信度について尋ねる。禁煙がさらに継続できるように導く。禁煙開始3~6カ月後に3回目の維持期の指導を行う。禁煙の経過を尋ねて、問題点について話し合う。
ステージ	内容	指導のねらい																	
無関心期	禁煙することに関心がない	喫煙の健康影響を示して自分の喫煙習慣について考えてみるよう働きかけ、禁煙への関心をもつ糸口をみつめるようにする。																	
関心・無企画期(関心期I)	禁煙に関心はあるが当分実行する気はない	患者が喫煙の利益と不利益をはかりにかけのを手伝ったり、喫煙について患者の個性にあった情報を提供し、次に何をすべきかを考えてもらうことで禁煙をしようとするように導く。																	
関心・企画期(関心期II)	実行する気はあるが今すぐには禁煙しようと思わない	禁煙の意志を高め、禁煙の実行に向けての具体的な準備を始められるように導く。禁煙のための具体的な方法について例をあげて説明し、禁煙開始日を設定することを考えてもらうようにする。																	
準備期	すぐにも禁煙を実行しようと思う	禁煙開始日の設定について相談する。禁煙の約束を取り交わし、喫煙行動の観察とニコチン依存度の自己評価を約束する。禁煙すべき理由を明確にし、患者がスムーズに禁煙実行の準備ができるよう導く。																	
実行期・維持期	禁煙実行を開始する日が決まっている	禁煙開始日がせまった2週間以内に実行期の禁煙指導を行う。まず、禁煙する理由を確認する。禁煙後の離脱症状、たばこを吸うきっかけについて話し合い、その対処法を導く。ニコチン依存度が高い患者にはニコチンガム・ニコチンパッチを処方する。 禁煙開始後の1週間以内に1回目の維持期の指導を行う。禁煙できたことをほめ、出現した離脱症状や喫煙再開のきっかけとその対処法について話しあう。 禁煙開始1カ月後に2回目の維持期の指導を行う。禁煙の効果はつきりしてくる時期であり、禁煙の自信度について尋ねる。禁煙がさらに継続できるように導く。禁煙開始3~6カ月後に3回目の維持期の指導を行う。禁煙の経過を尋ねて、問題点について話し合う。																	
<p>193 1歳6か月児歯科健康診査で齲蝕罹患型がO₂と診断された幼児の保護者に対して適切な指導はどれか。</p> <p>a 現在の状態を維持するように指示する。 b 6か月以内に再検査の必要性があることを指導する。 c フッ化ジアンミン銀塗布をすすめる。 d 可能な限り齲蝕の治療を行うように指導する。</p> <p>▶ keyword: 1歳6か月児歯科健康診査、齲蝕罹患型</p>	<p>解答: b</p> <p>1歳6か月児歯科健康診査における齲蝕罹患型O₂は、齲蝕はないが口腔環境がよくない状態(危険因子が多い)の判定区分である。</p> <p>a × O₁型の指導事項である。</p> <p>b ○ そのほかにフッ化物塗布の予防処置をすすめる。</p> <p>c × A型の指導事項であり、そのほかに哺乳ビンを使用していれば、やめるように指導する。</p> <p>d × B型の指導事項であり、甘い飲食物の摂取は十分注意するよう指示する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 246-249 ポイントチェック② 40</p>																		

問題 B		解答・解説															
194	<p>地域支援事業における介護予防教室開催計画について次の問194、問195に答えよ。</p> <p>対象となる地域住民の年齢はどれか。</p> <p>a 20歳以上すべて b 40歳以上すべて c 65歳以上すべて d 70歳以上すべて</p> <p>▷ keyword : 地域支援事業</p>	<p>解答 : c</p> <p>地域支援事業における健康教育などを通じた介護予防に関する基本的知識の普及・啓発などの一般高齢者施策は、地域に在住する65歳以上すべての高齢者を対象とする。</p> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 279-280</p>															
195	<p>介護予防教室での講話についてメインテーマを計画した表を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>メインテーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回目</td> <td>口と健康</td> </tr> <tr> <td>第2回目</td> <td>口の働き</td> </tr> <tr> <td>第3回目</td> <td>歯、入れ歯</td> </tr> <tr> <td>第4回目</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>第5回目</td> <td>唾液</td> </tr> <tr> <td>第6回目</td> <td>まとめ</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4回目の内容について適切なのはどれか。</p> <p>a インプラント b フッ化物 c 舌の働き d ホワイトニング</p> <p>▷ keyword : 口腔機能向上</p>	回	メインテーマ	第1回目	口と健康	第2回目	口の働き	第3回目	歯、入れ歯	第4回目	()	第5回目	唾液	第6回目	まとめ	<p>解答 : c</p> <p>65歳以上の高齢者が対象であり、口腔機能の向上のための事業であることを考慮して計画する。</p> <p>a × b × c ○ 口腔機能の向上に舌の働きは重要である。また、口臭の原因となる舌苔の除去法も指導するとよい。 d ×</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 79-83</p>	
回	メインテーマ																
第1回目	口と健康																
第2回目	口の働き																
第3回目	歯、入れ歯																
第4回目	()																
第5回目	唾液																
第6回目	まとめ																
196	<p>キシリトールについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 甘味度はショ糖よりも低い。 b グルコースを還元してつくられる。 c ブラーク形成能がショ糖よりも低い。 d 溶解時に吸熱反応を起こす。</p> <p>▷ keyword : キシリトール、代用甘味料</p>	<p>解答 : c, d</p> <p>キシリトールは糖アルコールの一種で、シラカバや樫の樹液に含まれるキシランを還元してつくられる。糖アルコールの中では、もっとも甘味度が高くショ糖と同程度である。</p> <p>a × キシリトールの甘味度はショ糖と同等である。 b × シラカバや樫の樹液に含まれるキシランを還元してつくられる。 c ○ d ○ 溶解時に吸熱反応を起こすので、口の中でさわやかな冷涼感を得られる。</p> <p>文献 : 栄養指導・生化学 102-104</p>															

問題 B		解答・解説	
197	<p>83歳の寝たきり状態の女性に対し、市町村保健センターの保健師から依頼を受け、歯科衛生士が訪問して口腔衛生指導を行うことになった。訪問時に留意する点として適切なのはどれか。</p> <p>a 訪問前に歯科医師と連絡をとることが定められている。 b 初回はケアマネジャーと同行する。 c 介護保険法による「居宅療養管理指導」として訪問する。 d 業務記録を作成することが義務付けられている。</p> <p>▷ keyword : 訪問口腔衛生指導、市町村保健センター</p>	<p>解答 : d</p> <p>行政の保健指導として行われる「訪問口腔衛生指導」は療養上に必要な口腔衛生の指導や介護予防のための助言を目的としている。</p> <p>a × 訪問した後で必要に応じて連絡をとる。 b × ケアマネジャーの同行は必要としない。 c × 行政の保健指導は、高齢者の医療の確保に関する法律による「訪問口腔衛生指導」として扱われる。 d ○ 訪問口腔衛生指導を行った際には、業務記録の作成が義務付けられている。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 278-281</p>	
198	<p>学校保健において歯科衛生士が担当するのはどれか。</p> <p>a 学校環境衛生の維持、改善に関する指導と助言 b 学習指導要領に基づき各教科において実施される保健学習 c 児童生徒などの歯の検査 d 学級活動やホームルーム活動などにおいて実施される保健指導</p> <p>▷ keyword : 学校歯科保健、歯科衛生士</p>	<p>解答 : d</p> <p>a × 学校環境衛生の維持および改善に必要な指導・助言に関しては、学校医と学校薬剤師が協力して行う。 b × 保健学習は学習指導要領に基づき、学級担任や養護教諭などにより各教科において実施される。 c × 学校保健安全法に基づく学校健康診断のうち、「歯および口腔の疾病及び異常の有無」の検査を実施するのは学校歯科医である。 d ○</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 255-268</p>	
199	<p>介護給付における口腔機能向上サービスの指導計画の作成および実施にあたり留意するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 「こうありたい」姿、「こうしたい」生活など本人の意向を把握する。 b 内容は専門用語を使用する。 c 計画は利用者と家族の了解を得る。 d 計画の実施は専門職のみが行う。</p> <p>▷ keyword : 口腔機能向上サービス、管理指導計画</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>介護給付における口腔機能向上サービスでは、要介護者の口腔機能が低下している状態を早期に発見して、利用者の機能維持、改善を行い、自分らしい生活の確立と自己実現を利用者家族等と協議し支援するものである。</p> <p>a ○ 利用者自身が問題点を解決して「こうしたい」という目標をもてるように支援する。 b × 利用者自身にもなじむ言葉で指導計画に明記する。 c ○ d × 専門職種、関連職種だけでなく本人や介護者が家庭でも実施できるように計画する。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 保健生態学 279 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 80-83</p>	

問題 B	解答・解説
<p>200 加齢に伴う口腔内の変化で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ul style="list-style-type: none">a 咀嚼筋の機能低下b 顎骨の萎縮c 顎堤粘膜の肥厚d 味覚閾値の低下 <p>▶ keyword : 高齢者の口腔</p>	<p>解答 : a、b</p> <p>高齢化に伴いさまざまな身体機能が低下する。口腔内の加齢変化としては、顎骨の萎縮や多孔化、顎関節部の形態変化、唾液分泌量の低下や、舌筋・咀嚼筋の機能低下、口腔粘膜の弾力低下などがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none">a ○b ○c × 口腔粘膜の弾性は低下し、顎堤粘膜は薄くなる。d × 味覚の閾値は上昇し、味覚識別感が低下する。 <p>文献 : 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 18、20-29</p>